臺灣總督府
中央研究所

農業部彙報

第五十一號

バナナに對する剪葉及斷根が生育に及ぼす影響に就て

臺灣總督府中央研究所

本彙報はバナナ萎縮病に關聯しバナナ植物に對し剪葉又は斷根をなしたる場合に其生育に如何なる障害を與ふるやに就き施行したる試驗成績にして未だ完成の域に達せざるも以て其概要を窺ふに足るべきを信じ當事者の參考に資せんが爲茲に印刷に附す

昭和二年七月

臺灣總督府中央研究所農業部長
農學博士　大島金太郎

臺灣總督府中央研究所 農業部彙報 第五十一號

バナナに對する剪葉及斷根が生育に及ぼす影響に就て

目次

一 緒言……一
二 供試品種及其取扱……二
三 試驗及其成績……三
(一) 第一回試驗……三
(1) 對照區……四
(2) 一心葉區(一)……七
(3) 一心葉區(二)……一〇
(4) 二葉區……一三
(5) 斷根區……一七
(6) 小結……二〇

（二）第二回試驗……二二
（1）對照區……二三
（2）一心葉區（一）……二六
（3）一心葉區（二）……三六
（4）斷根區……四四
（5）小　結……四九
四　總括及摘要……五一
附　試驗期間中の氣象（月別）……五五

バナナに對する剪葉及斷根が生育に及ぼす影響に就て

技手　澤田兼吉

一　緒言

バナナ萎縮病は臺灣に於て高脚種栽培當時は平年大約八分乃至一割の發生を見、從つて抵抗性なる仙人種を栽培するもの著しく增加せり。然れども今日猶圃場によりて相當の被害を蒙りつゝあり。此病株は萎縮して結實することなく假令結實するとも果實矮小にして食用に堪へざるか或は成熟に至らずして腐敗するもの多し。

此病原に就き調査したるも病原たるべき生物の存在を證明すること能はざりき。埃及の如きは線蟲（Heterodera radicicola）の被害に起因するものとなせども著者の試驗の結果に於ては之は主なる原因をなすものに非らざるを知れり。又病健兩株を接觸栽植及病株の液汁を健全株に注入等によるも感染せしめ得たることなし。又病株の腐敗部分より分離せる數種の細菌を注射するも健全株に異狀を認めず。又病株に營養を與ふる時は回復して健全株となるものありて傳染性の病害ならざるを知るに足るべし。

又生理的關係として加里の缺乏に起因すると考ふるものあるも著者は加里に對する試驗を行ひたるも遂に

之を證明し得ざりき。又印度にては古株にのみ生ずる如く稱するも敢て古株にのみ獨占せらるゝものに非らず。即ち本病の起る原因は未だ明かならざるも一般的に見て營養及土壤の狀態による生理的關係によるものと思考せらる。

本病の發生する條件に就て觀察するにバナナの領地の狹き場合、根が水の缺乏又は停滯によりて腐敗又は枯死したる場合又は暴風によりて假莖の挫折せられたる場合等に屢々發生することあるを以て著者はバナナの葉及根に障害を與へたる場合に果して萎縮を起さしめ得るや又兼てバナナの性質の一部を知らんとし剪葉及斷根に就き試驗を施行せり。

二　供試品種及其取扱

供試品種は仙人種、高脚種及北蕉の三品種を選べり。仙人種(兔狂種)は其原産地たる臺中州大屯郡竹仔坑の山地に栽培せられたるものゝ標式的の一株より苗を採り來りて繁殖せしめたり。該品種は萎縮病に對し抵抗性強きものにして果實の品質は高脚種に稍々劣ると稱せらる。又高脚種は臺中州員林地方に一般に栽培せられし品種にして萎縮病に罹り易きものなり。之は員林街に於て標式的なる一株より苗を得て之を繁殖せしめたり。又北蕉は臺北地方に於て一般に栽培せらるゝ該地方の丈高き品種にして相當萎縮の被害を受く。之れ亦標式的の一株より苗を得て繁殖せしめたり。

是等品種中、仙人種は最も丈高く高脚種之に亞ぎ、北蕉は最も低し。然し北蕉と雖も營養良好なれば假莖の高さ六尺以上に伸長す。是等は共に同一種即ち Musa Cavendishi の品種なり。

試驗に供用せし各品種の苗は豫め繁殖中のものより等大強健なるものを選び植付距離は八尺×九尺とし同時に植付け、吸芽を生ずるを認めたる時は直ちに鎌先を以て芽の形成部を掘り切りて一株一莖仕立となせり。

施肥は臺灣農民の一般に行ふ方法と異なり追肥を施すことなく只基肥として廐肥一株に付約二荷を施せり

供試株は一區五、六本を希望したるも土地狹隘なりし爲、一區一株又は二株を採るの不得止事情なりき。

剪葉及斷根の方法は後章試驗及其成績の條下に揭けたり。

三　試驗及其成績

(一)　第一回試驗

試驗開始期には豫め栽植したるものゝ內同樣なる發育狀態のものを選出し各株に立札をなせり。當時假莖の高さ約三乃至四尺に達せり。

對照區は其儘放置して觀測をなし、一心葉區は試驗開始の際、心葉一枚を殘し既成葉全部を剪去し爾後新心葉が抽出し始めたる時は前に殘しありたる葉を剪去し常に心葉一枚を殘す如くせり。即ち或時期には棒狀をなして抽出中なる心葉のみのことあり又或時期には稍々開展したる一葉のみのことあり。二葉區は試驗開始

の際心葉と第二葉とを殘し他の既成葉は悉く剪去し爾後新心葉が抽出すれば其古き第二葉を剪去し常に梢頭には心葉と充分開展せる第二葉の二葉存在する如くせり。又斷根區は葉は其儘となし根株の周圍約五寸の距離に深さ約一尺の溝を掘り周して根を切斷し直ちに土を埋め毎月一回宛試驗終了迄之を反覆せり。

(1) 對照區

（甲）仙人種

	心葉抽出し始めたる日（大正七年 月 日）	心葉充分開展したる日（大正七年 月 日）	心葉の抽出より開展に至る日數	葉の長（尺寸分）	葉の幅（尺寸分）	最初の葉の大さの差 長（尺寸分）	最初の葉の大さの差 幅（尺寸分）
一	七、一三	七、二六	一三	三・一・三	一・二・一	—	—
二	七、一五	七、二六	一一	三・六・〇	一・五・〇	四・七	二・九
三	七、二三	八、一二	一九	三・四・〇	一・四・五	二・七	二・四
四	八、一〇	八、二八	一八	三・四・五	一・四・三	三・二	二・二
五	八、二七	九、一〇	一四	三・六・四	一・七・〇	五・一	四・九
六	九、九	九、二三	一四	三・六・五	一・六・〇	五・二	三・九
七	九、一九	一〇、七	一八	三・六・六	一・六・六	五・三	四・五
八	一〇、三	一〇、二一	一八	三・六・〇	一・五・八	三・七	三・七
九	一〇、一八	一一、四	一六	四・〇・〇	一・七・三	八・七	五・一
一〇	一〇、三一	一一、二五	二五	四・〇・〇	一・四・四	八・七	三・三
一一	一一、一六	一二、一一	二五	四・〇・七	一・四・五	九・四	二・四
一二	一二、九	八、一、一一	三三	四・一・〇	一・五・〇	九・七	二・九
一三	一二、二五	一、二五	三一	四・〇・〇	一・三・五	八・七	一・四
一四	八、三、一一	四、七	二七	四・四・〇	一・三・五	一・二・七	一・四
一五	四、二	四、二五	二三	四・三・〇	一・五・五	一・一・七	三・四
一六	四、一八	五、九	二一	四・四・五	一・六・四	一・三・二	四・三
一七	五、二	五、二一	一九	四・七・〇	一・八・〇	一・五・七	五・九
一八	五、一四	六、四	二一	四・五・五	二・〇・〇	一・四・二	七・九
一九	五、二九	六、二四	二六	四・三・五	一・九・〇	一・三・三	六・九
二〇	六、一九	七、一七	二八	四・四・二	一・八・〇	一・二・九	五・九
二一	七、五	八、四	三〇	四・六・〇	一・九・〇	一・四・七	六・九
二二	七、二八	八、二七	三〇	四・六・三	一・九・七	一・五・〇	七・六
二三	八、二	—	—	—	—	—	—

備考　大正八年八月廿五日の暴風にて倒伏せり

（乙）高脚種

	心葉抽出し始めたる日（大正七年 月 日）	心葉充分開展したる日（大正七年 月 日）	心葉の抽出より開展に至る日數	葉の長（尺寸分）	葉の幅（尺寸分）	最初の葉の大さの差 長（尺寸分）	最初の葉の大さの差 幅（尺寸分）
一	六、一七	七、一	一四	四・三・五	二・〇・〇	—	—
二	六、二九	七、一四	一五	四・三・〇	二・一・〇	(一)五	一・〇
三	七、一一	七、二六	一五	五・〇・〇	二・一・一	六・五	一・一
四	七、二三	八、九	一七	五・二・〇	二・〇・〇	八・五	〇
五	八、八	八、二九	二一	五・一・〇	一・九・一	七・五	(一)九

	心葉抽出し始めたる日	心葉充分開展したる日	心葉の抽出より開展に至る日数	葉の長	葉の幅	最初の葉の大さの差 長	最初の葉の大さの差 幅
六	八、二八	九、一三	一五	四・七・二	一・九・〇	三・七	(−)一・〇
七	九、一〇	九、二九	一九	四・九・二	一・九・五	五・七	(−)五
八	九、二六	一〇、一三	一七	四・九・〇	一・九・五	五・五	(−)五
九	一〇、一七	一一、五	一九	四・九・〇	一・八・〇	五・五	(−)二・〇
一〇	一一、二	一一、二六	二六	四・六・〇	一・八・〇	二・五	(−)二・〇
一一	一一、二〇	一二、一八	二八	四・七・二	一・八・二	三・七	(−)一・八
一二	一二、一	—	—	—	—	—	—

備考　事故を生したる爲觀測を廢止す

表中「最初の葉の大さの差」の欄に於ける(−)印は減、無印は增を示す。以下之に倣ふ。

（丙）北蕉

	心葉抽出し始めたる日（大正七年 月 日）	心葉充分開展したる日（大正七年 月 日）	心葉の抽出より開展に至る日數	葉の長（尺寸分）	葉の幅（尺寸分）	最初の葉の大さの差 長（尺寸分）	最初の葉の大さの差 幅（尺寸分）
一	六、一八	七、一四	二六	三・九・〇	一・七・五	—	—
二	七、八	七、二三	一四	四・〇・五	一・七・五	一・五	〇
三	七、二一	八、一三	二三	四・〇・〇	一・九・三	一・〇	一・八
四	八、一〇	八、三〇	二〇	四・二・〇	一・七・三	三・〇	(−)二
五	八、二九	九、二〇	二二	四・四・〇	一・八・二	五・〇	七
六	九、一六	一〇、一〇	二五	四・四・〇	一・八・五	五・〇	一・〇
七	一〇、二	一〇、二三	二一	四・二・〇	一・七・三	三・〇	(−)二
八	一〇、一九	一一、一九	三一	四・四・〇	一・八・〇	五・〇	五

	心葉抽出し始めたる日	心葉充分開展したる日	心葉の抽出より開展に至る日數	葉の長	葉の幅	最初の葉の大さの差 長	最初の葉の大さの差 幅
九	一一、一六	一二、一〇	二四	三・八・六	一・八・〇	(−)四	五
一〇	一二、一六	八 一、一二	二六	四・一・五	一・九・三	二・五	一・八
一一	八 一、一六	二、一四	二九	四・一・〇	一・五・五	二・〇	(−)二・〇
一二	三、二	四、七	三六	四・三・五	一・三・八	四・五	(−)三・八
一三	三、二三	四、一八	二六	四・五・五	一・六・六	六・五	(−)九
一四	四、二〇	五、一四	二四	四・二・五	一・七・〇	三・五	(−)五
一五	五、六	五、二八	二二	四・四・〇	一・七・〇	五・〇	(−)五
一六	五、二三	六、一二	二〇	三・九・八	一・八・三	八	八
一七	六、六	六、二三	一七	四・一・五	一・八・五	二・五	一・〇
一八	六、一八	七、一五	二七	四・〇・五	一・七・五	一・五	〇
一九	七、一〇	八、五	二六	四・一・三	一・七・六	二・三	一
二〇	七、三一	—	—	—	—	—	—

備考　大正八年八月廿五日の暴風にて倒伏せり

(2) 一心葉區（二）

（甲）仙人種

	心葉抽出し始めたる日（大正七年 月 日）	心葉充分開展したる日（大正七年 月 日）	心葉の抽出より開展に至る日數	葉の長（尺寸分）	葉の幅（尺寸分）	最初の葉の大さの差 長（尺寸分）	最初の葉の大さの差 幅（尺寸分）
一	六、八	六、一六	八	三・一・六	一・一・三	—	—
二	六、一五	六、二六	一一	三・〇・四	一・〇・〇	(−)一・二	(−)一・三

三	六・二五	七・六	一一	二・七・〇	九・四	(−)四・六	(−)一・八
四	七・四	七・一七	一三	二・三・三	八・七	(−)九・四	(−)二・五
五	七・一六	七・二七	一一	二・一・四	八・〇	(−)一・〇・二	(−)三・二
六	七・二五	八・一〇	一六	一・八・〇	八・〇	(−)一・三・六	(−)三・二
七	八・六	八・二三	一七	一・六・九	六・三	(−)一・四・七	(−)五・〇
八	八・二〇	九・六	一七	一・六・〇	五・六	(−)一・五・六	(−)五・六
九	九・二	九・一九	一七	一・四・四	五・八	(−)一・七・二	(−)五・四
一〇	九・一六	一〇・五	一九	一・二・〇	四・三	(−)一・九・六	(−)六・九
一一	一〇・三	一〇・一九	一六	一・三・九	五・二	(−)一・七・七	(−)六・二
一二	一〇・一七	一〇・二八	一一	一・三・七	五・二	(−)一・七・九	(−)六・二
一三	一〇・三〇	一一・一九	一九	一・三・三	五・〇	(−)一・八・三	(−)六・三
一四	一一・一五	一二・一三	二八	一・三・〇	五・〇	(−)一・八・六	(−)六・三
一五	一二・一〇	八 二・七	五七	一・一・二	三・九	(−)二・〇・四	(−)七・三
一六	八 一・三一	三・二七	五五	一・二・〇	三・八	(−)一・九・六	(−)七・四
一七	三・二二	四・二六	三五	一・〇・〇	三・三	(−)二・一・六	(−)八・〇
一八	三・二二	五・一四	五三	九・〇	三・四	(−)二・三・六	(−)七・八
一九	五・九	五・二五	一六	八・九	三・二	(−)二・三・七	(−)八・二
二〇	五・二〇	六・八	一九	八・二	三・〇	(−)二・三・四	(−)八・二
二一	六・一	六・二四	二三	半出	—	—	—
二二	六・二七	—	—	—	—	—	—

備考 大正八年八月二十二日根株腐敗枯死せり

(乙) 高脚種

	心葉抽出し始めたる日 大正年 月 日	心葉充分開展したる日 大正年 月 日	心葉の抽出より開展に至る日數	葉の長 尺寸分	葉の幅 尺寸分	最初の葉の大さの差 長 尺寸分	最初の葉の大さの差 幅 尺寸分
一	七 六・八	七 六・一八	一〇	三・三・〇	一・三・〇	—	—
二	六・一五	六・二六	一一	三・一・八	一・一・八	(−)二	(−)二
三	六・二三	七・六	一三	二・[illegible]・〇	一・〇・三	(−)五・〇	(−)一・七
四	七・四	七・一七	一三	二・三・三	八・七	(−)九・八	(−)三・三
五	七・一三	七・二四	一一	一・二・四	八・〇	(−)二・〇・六	(−)四・〇
六	七・二六	八・一〇	一五	一・八・〇	八・〇	(−)一・四・〇	(−)四・〇

備考 大正七年九月十二日根株腐敗枯死せり

(丙) 北蕉

	心葉抽出し始めたる日 大正年 月 日	心葉充分開展したる日 大正年 月 日	心葉の抽出より開展に至る日數	葉の長 尺寸分	葉の幅 尺寸分	最初の葉の大さの差 長 尺寸分	最初の葉の大さの差 幅 尺寸分
一	七 六・九	七 六・一七	八	三・六・七	一・六・二	—	—
二	六・一四	六・二七	一三	三・五・〇	一・二・七	(−)一・七	(−)二・五
三	六・二三	七・一〇	一七	三・〇・八	一・三・〇	(−)五・九	(−)三・二
四	七・八	七・二〇	一二	二・三・〇	一・〇・〇	(−)一・三・七	(−)六・二
五	七・一八	八・二	一五	二・二・〇	九・〇	(−)一・四・七	(−)七・二
六	七・三〇	—	—	—	—	—	—

備考 大正七年八月二十七日根株腐敗枯死せり

(3) 一心葉區 (二)

(甲) 仙人種

	心葉抽出し始めたる日（大正 年 月 日）	心葉充分開展したる日（大正 年 月 日）	心葉の抽出より開展に至る日數	葉の長（尺寸分）	葉の幅（尺寸分）	最初の葉の大さの差 長（尺寸分）	最初の葉の大さの差 幅（尺寸分）
一	七、九、五	七、九、一九	一四	三・八・〇	一・六・〇	—	—
二	九、一六	九、二六	一〇	三・四・〇	一・三・〇	(一)四・〇	(一)三・〇
三	九、二二	一〇、三	一一	三・三・〇	一・一・〇	(一)五・〇	(一)五・〇
四	一〇、五	一〇、一八	一三	三・四・〇	一・二・四	(一)四・〇	(一)三・六
五	一〇、一五	一〇、三一	一六	三・四・〇	一・二・三	(一)四・〇	(一)三・七
六	一〇、二五	一一、一一	一七	三・七・二	一・二・五	(一)八	(一)三・五
七	一一、五	一一、三〇	二五	三・四・〇	一・〇・五	(一)四・〇	(一)五・五
八	一一、二五	一二、二八	三三	三・二・五	一・〇・〇	(一)五・五	(一)六・〇
九	一二、一八	八、一、二五	三八	二・九・六	九・〇	(一)八・四	(一)七・〇
一〇	八、一、一七	三、一四	五六	二・八・五	八・三	(一)九・五	(一)七・七
一一	三、一一	四、七	二七	二・五・〇	五・〇	(一)一・三・〇	(一)一・一・〇
一二	四、二	四、二八	二六	二・四・五	七・二	(一)一・三・五	(一)八・八
一三	四、一八	五、一〇	二二	二・二・五	七・〇	(一)一・五・五	(一)九・〇
一四	五、二	五、一六	一四	二・二・一	七・五	(一)一・五・九	(一)八・五
一五	五、一三	六、一	一九	二・三・〇	八・〇	(一)一・五・〇	(一)八・〇
一六	五、二五	六、一九	二五	二・一・五	七・二	(一)一・六・五	(一)八・八
一七	六、九	六、二七	一八	一・九・〇	七・〇	(一)一・九・〇	(一)九・〇
一八	六、二二	七、一七	二五	一・八・五	七・五	(一)一・九・五	(一)八・五
一九	七、九	八、一七	三九	一・五・〇	六・〇	(一)二・三・〇	(一)一・〇・〇
二〇	八、二二	—	—	—	—	—	—

備考　大正八年八月二十五日の暴風にて倒伏せり

(乙) 高脚種

	心葉抽出し始めたる日（大正 年 月 日）	心葉充分開展したる日（大正 年 月 日）	心葉の抽出より開展に至る日數	葉の長（尺寸分）	葉の幅（尺寸分）	最初の葉の大さの差 長（尺寸分）	最初の葉の大さの差 幅（尺寸分）
一	七、九、五	七、九、二八	二三	四・七・〇	一・八・五	—	—
二	九、二三	一〇、二一	二八	四・二・二	一・七・〇	(一)四・八	(一)五
三	一〇、一四	一〇、三一	一七	三・六・二	一・四・〇	(一)一・〇・八	(一)四・五
四	一〇、二四	一一、一〇	一七	三・三・〇	一・二・〇	(一)一・四・〇	(一)六・五
五	一一、四	—	—	—	—	—	—

備考　大正七年十一月十八日枯死せり、而して其根株は半透明飴色となり全く澱粉を檢出し得ず

(丙) 北蕉

	心葉抽出し始めたる日（大正 年 月 日）	心葉充分開展したる日（大正 年 月 日）	心葉の抽出より開展に至る日數	葉の長（尺寸分）	葉の幅（尺寸分）	最初の葉の大さの差 長（尺寸分）	最初の葉の大さの差 幅（尺寸分）
一	七、九、五	七、九、二二	一七	三・八・五	一・七・〇	—	—
二	九、一八	一〇、四	一六	三・五・〇	一・四・〇	(一)三・五	(一)三・〇

三	九、二九	一〇、一八	一九	三・二〇	一・二〇	(一)六・五	(一)五・〇
四	一〇、一二	一〇、二九	一七	三・三〇	一・四四	(一)五・五	(一)二六
五	一〇、二三	一一、一二	二〇	三・二六	一・三五	(一)五・九	(一)三五
六	一一、五	一二、三	二八	三・三三	一・二三	(一)五・二	(一)五・七
七	一一、二五	一二、二〇	二五	三・一〇	一・一〇	(一)七・五	(一)六・〇
八	一二、一八	八 三、一四	八六	三・〇〇	一・二〇	(一)八・五	(一)六・〇
九	八 二、一四	三、二五	三九	二・五〇	九・〇	(一)一・三五	(一)八・〇
一〇	三、一九	四、一四	二六	二・五五	八・二	(一)一・三〇	(一)八・八
一一	四、九	五、一	二二	二・五〇	八・五	(一)一・三五	(一)八・五
一二	四、二五	五、一七	二二	二・四〇	八・三三	(一)一・四五	(一)八・七
一三	五、八	六、八	三一	二・二五	九・〇	(一)一・六〇	(一)八・〇
一四	六、三	六、三〇	二七	一・七〇	六・五	(一)二・一五	(一)一・〇五
一五	六、二五	七、一二	一六	一・八五	八・六	(一)二・〇〇	(一)八・四
一六	七、六	七、三〇	二四	一・九八	八・三	(一)一・八七	(一)八・七
一七	七、二一	八、一二	二二	一・八二	八・〇	(一)二・〇三	(一)九・〇
一八	八、三	八、二二	一九	一・六〇	七・二	(一)二・二五	(一)九・八
一九	八、一七	九、四	一八	一・五〇	六・五	(一)二・三五	(一)一・〇五
二〇	八、三〇	九、一三	一四	一・五二	六・八	(一)二・三三	(一)一・〇二
二一	九、七	九、二二	一五	一・六〇	六・〇	(一)二・二五	(一)一・一〇
二二	九、一五	一〇、三	一八	一・五〇	七・〇	(一)二・三五	(一)一・〇〇
二三	九、二六	一〇、一九	二三	一・四〇	六・〇	(一)二・四五	(一)一・一〇
二四	一〇、九	一〇、三〇	二一	一・三五	六・〇	(一)二・五〇	(一)一・一〇
二五	一〇、一五	一一、三	一八	一・三五	六・〇	(一)二・五〇	(一)一・一〇
二六	一一、七	—	—	—	—	—	—

備考　根株は腐敗して枯死せり

(4) 二葉區

(甲) 仙人種

	心葉抽出し始めたる日	心葉充分開展したる日	心葉の抽出より開展に至る日數	葉の長	葉の幅	最初の葉の大きさの差 長	最初の葉の大きさの差 幅
	大正年 月 日	大正年 月 日		尺寸分	尺寸分	尺寸分	尺寸分
一	七 九、二	七 九、二二	二〇	四・〇〇	一・五二	—	—
二	九、一六	一〇、七	一九	三・五三	一・二六	(一)四・七	(一)二六
三	九、三〇	一〇、一八	一八	三・五〇	一・三〇	(一)五・〇	(一)二二
四	一〇、一五	一一、三	一九	三・五五	一・四五	(一)四・五	(一)七
五	一〇、二六	一一、二一	二四	三・五〇	一・三三	(一)五・〇	(一)二・〇
六	一一、二三	一二、二〇	二七	三・四五	一・三九	(一)五・五	(一)一三
七	一二、八	八 一、二一	四四	三・三〇	一・三〇	(一)七・〇	(一)二二
八	八 一、九	三、一二	六〇	三・二〇	一・〇二	(一)八・〇	(一)五・〇
九	二、二六	三、二二	二二	三・一〇	七・八	(一)九・〇	(一)七・四
一〇	三、三〇	四、二二	二三	三・一七	九・五	(一)八・三	(一)五・七
一一	四、一四	五、九	二五	二・八〇	一・一〇	(一)一・三〇	(一)四・二
一二	五、一	五、一六	一五	二・八五	一・一五	(一)一・一五	(一)三・七

一三	五、一二	五、二六	一五	三・〇・〇	一・一・八	(一)一・〇・〇	(一)三・四
一四	五、二四	六、九	一六	二・八・八	一・二・六	(一)一・一・二	(一)二・六
一五	六、六	六、二三	一七	二・八・〇	一・三・五	(一)一・二・〇	(一)一・七
一六	六、一九	七、一六	二七	二・八・〇	一・二・六	(一)一・二・〇	(一)二・六
一七	七、一〇	七、三一	二一	二・八・五	一・三・二	(一)一・一・五	(一)二・〇
一八	七、二六	八、一三	一八	二・七・〇	一・二・五	(一)一・三・〇	(一)二・七
一九	八、八	八、三〇	二二	二・六・五	一・二・〇	(一)一・三・五	(一)三・二
二〇	八、二二	九、八	一七	二・七・〇	一・一・〇	(一)一・三・〇	(一)四・二
二一	九、三	九、二五	二二	二・五・四	一・〇・三	(一)一・四・六	(一)四・九
二二	九、一六	一〇、二二	三六	二・五・〇	一・〇・〇	(一)一・五・〇	(一)五・三
二三	一〇、七	一一、一二	三六	二・四・二	九・六	(一)一・五・八	(一)五・六
二四	一一、二	—	—	—	—	—	—

備考　貧弱なるも未だ生存す

(乙) 高脚種

	心葉抽出し始めたる日 大正七年 月 日	心葉充分開展したる日 大正七年 月 日	心葉の抽出より開展に至る日數	葉の長 尺寸分	葉の幅 尺寸分	最初の葉の大さの差 長 尺寸分	最初の葉の大さの差 幅 尺寸分
一	九、二	九、二二	二〇	四・四・〇	一・七・〇	—	—
二	九、一八	一〇、一三	二五	四・〇・〇	一・五・五	(一)四・〇	(一)一・五
三	一〇、五	一〇、二三	一八	三・九・〇	一・三・〇	(一)五・〇	(一)四・〇
四	一〇、一九	一一、一〇	二二	四・一・〇	一・三・五	(一)三・〇	(一)三・五
五	一一、六	一二、三	二七	三・九・〇	一・三・五	(一)五・〇	(一)三・五
六	一一、二八	一二、三〇	三二	三・九・〇	一・三・〇	(一)五・〇	(一)四・〇
七	一二、二〇	八、二、一九	六一	三・七・二	一・二・三	(一)六・八	(一)四・七
八	八、一、二九	三、二五	五五	三・六・〇	一・〇・〇	(一)八・〇	(一)七・〇
九	三、一一	四、一〇	三〇	三・七・〇	一・〇・〇	(一)七・〇	(一)七・〇
一〇	四、七	四、二九	二二	三・一・〇	一・一・五	(一)一・三・〇	(一)五・五
一一	四、二四	五、一四	二〇	三・二・〇	一・三・〇	(一)一・二・〇	(一)四・〇
一二	五、八	五、二四	一六	三・〇・五	一・一・一	(一)一・三・五	(一)五・九
一三	五、二〇	六、九	二〇	三・〇・三	一・三・五	(一)一・三・七	(一)三・五
一四	六、四	六、二三	一九	二・九・〇	一・三・〇	(一)一・五・〇	(一)四・〇
一五	六、一七	六、二九	一二	二・七・〇	一・二・〇	(一)一・七・〇	(一)五・〇
一六	六、二五	七、一〇	一五	二・七・五	一・一・五	(一)一・六・五	(一)五・五
一七	七、五	七、一九	一四	二・七・二	一・一・〇	(一)一・六・八	(一)六・〇
一八	七、一三	七、二九	一六	三・三・〇	一・四・三	(一)一・一・〇	(一)二・七
一九	七、二四	八、一〇	一七	三・二・〇	一・二・五	(一)一・二・〇	(一)四・五
二〇	八、五	九、八	三四	二・八・〇	一・二・〇	(一)一・六・〇	(一)五・〇
二一	九、三	九、二〇	一七	二・八・〇	一・一・五	(一)一・六・〇	(一)五・五
二二	九、一二	九、三〇	一八	二・八・〇	一・一・四	(一)一・六・〇	(一)五・六
二三	九、一四	一〇、三	一九	二・七・八	一・〇・〇	(一)一・六・三	(一)七・〇
二四	一〇、二	一一、一	三〇	二・七・五	九・八	(一)一・六・五	(一)七・二
二五	一〇、一五	—	—	—	—	—	—

備考　貧弱なるも未だ生存す

（丙）北蕉

	心葉抽出し始めたる日（大正七年 月日）	心葉充分開展したる日（大正七年 月日）	心葉の抽出より開展に至る日數	葉の長（尺寸分）	葉の幅（尺寸分）	最初の葉の大きさの差 長（尺寸分）	最初の葉の大きさの差 幅（尺寸分）
一	八、三〇	九、一五	一六	三・八・五	一・八・三	—	—
二	九、一三	九、二六	一六	三・五・〇	一・八・〇	(一)三・五	(一)二
三	九、一三	一〇、三	二〇	三・三・〇	一・五・〇	(一)五・五	(一)三・三
四	一〇、五	一〇、二三	一八	三・六・四	一・四・二	(一)二・二	(一)四・〇
五	一〇、一九	一一、八	一九	三・七・九	一・五・〇	(一)六	(一)三・二
六	一一、三	一二、三	三〇	三・五・〇	一・三・三	(一)三・五	(一)四・九
七	一一、二五	八、一、二三	五七	三・三・〇	一・三・二	(一)六・五	(一)五・〇
八	一二、一八	二、一五	五六	三・三・〇	一・一・〇	(一)六・五	(一)七・二
九	八、二、二四	三、二二	三五	三・〇・〇	九・〇	(一)八・五	(一)九・二
一〇	三、二〇	四、二六	三七	三・一・五	一・〇・五	(一)七・〇	(一)七・七
一一	四、一四	五、一四	三〇	三・三・〇	一・一・〇	(一)六・五	(一)七・二
一二	五、七	五、三〇	二三	二・七・五	一・一・九	(一)一・一・〇	(一)八・七
一三	五、一六	六、五	二〇	二・九・五	一・三・三	(一)九・〇	(一)四・九
一四	六、二	六、二三	二一	二・六・〇	一・三・二	(一)一・二・五	(一)六・〇
一五	六、一六	七、三	一七	二・六・〇	一・一・〇	(一)一・二・五	(一)七・二
一六	六、二七	七、一三	一五	二・七・五	一・二・五	(一)一・一・〇	(一)五・七
一七	七、七	七、二七	二〇	二・八・四	一・三・三	(一)一・〇・一	(一)五・九
一八	七、二二	八、一〇	一九	二・八・〇	一・一・三	(一)一・〇・五	(一)六・九
一九	八、五	八、三〇	二五	二・八・〇	一・一・〇	(一)一・二・五	(一)七・二
二〇	八、二一	九、六	一六	二・五・六	一・一・〇	(一)一・二・九	(一)七・二
二一	九、一	九、一六	一五	二・四・五	一・〇・三	(一)一・四・〇	(一)八・〇
二二	九、一二	九、三〇	一八	二・四・〇	一・〇・一	(一)一・四・五	(一)八・二
二三	九、一三	一〇、一三	三〇	二・四・〇	一・〇・五	(一)一・四・五	(一)七・七
二四	一〇、七	一〇、三〇	二三	二・五・〇	一・一・〇	(一)一・三・五	(一)七・二
二五	一〇、二三	一一、一〇	一九	二・三・八	一・〇・五	(一)一・四・七	(一)七・七
二六	一一、五	—	—	—	—	—	—

備考　貧弱なるも未だ生存す

(5) 斷根區

（甲）仙人種

	心葉抽出し始めたる日（大正七年 月日）	心葉充分開展したる日（大正七年 月日）	心葉の抽出より開展に至る日數	葉の長（尺寸分）	葉の幅（尺寸分）	最初の葉の大きさの差 長（尺寸分）	最初の葉の大きさの差 幅（尺寸分）
一	九、二	一〇、五	三三	三・二・〇	一・三・〇	—	—
二	一〇、一三	一一、二	二〇	三・一・九	一・二・一	九	(一)九
三	一〇、二九	一二、三	三五	三・七・五	一・〇・五	六・五	(一)二・五
四	一二、二	八、二、二五	五六	二・九・〇	八・二	(一)二・〇	(一)四・七
五	八、二、一四	四、二二	四五	二・六・九	七・四	(一)四・一	(一)五・六
六	四、一四	五、一六	三二	二・三・五	六・八	(一)七・五	(一)六・二
七	五、三	五、二八	二五	二・三・〇	七・六	(一)九・〇	(一)五・四

	心葉抽出し始めたる日	心葉充分開展したる日	心葉の抽出より開展に至る日數	葉の長	葉の幅	最初の葉の大さとの差 長	最初の葉の大さとの差 幅
八	五、二一	六、二四	三四	二・一〇	九・〇	(一)一・〇〇	(一)四・〇
九	六、三〇	七、二三	二三	二・一〇	七・三	(一)一・〇〇	(一)五・八
一〇	七、八	八、二五	四八	二・〇二	八・五	(一)一・〇八	(一)四・五
一一	八、一	九、八	三八	二・〇五	八・五	(一)一・〇五	(一)四・五
一二	九、一三	九、三〇	一七	一・八〇	七・五	(一)一・三〇	(一)五・五
一三	九、一四	一〇、二五	四一	一・八〇	八・〇	(一)一・三〇	(一)五・〇
一四	一〇、一五	一一、二一	三七	一・七七	七・八	(一)一・三三	(一)五・三
一五	一一、五	—	—	—	—	—	—

備考　降雨なく天氣繼續する時は葉は萎凋することあるも甚しき衰弱を見ず

(乙)　高脚種

	心葉抽出し始めたる日	心葉充分開展したる日	心葉の抽出より開展に至る日數	葉の長	葉の幅	最初の葉の大さとの差 長	最初の葉の大さとの差 幅
	大正七年 月 日	大正七年 月 日		尺寸分	尺寸分	尺寸分	尺寸分
一	九、四	九、三〇	二六	四・二七	一・五七	—	—
二	九、二七	一〇、二三	二六	四・〇〇	一・五五	(一)二・七	(一)二
三	一〇、一八	一一、二九	四二	三・九〇	一・四〇	(一)三・七	(一)一・七
四	一一、一三	八、一、七	五五	三・七二	一・三五	(一)五・五	(一)三・二
五	一二、一四	二、一八	六六	三・六五	一・〇八	(一)六・二	(一)四・九
六	八、二、一三	三、二一	三六	三・六五	一・一〇	(一)六・二	(一)四・七
七	三、二二	四、二五	三四	三・六八	九・〇	(一)五・九	(一)六・七
八	四、一六	五、一三	二七	三・五〇	一・一五	(一)七・七	(一)四・二

	心葉抽出し始めたる日	心葉充分開展したる日	心葉の抽出より開展に至る日數	葉の長	葉の幅	最初の葉の大さとの差 長	最初の葉の大さとの差 幅
九	五、八	五、二九	二一	三・一〇	一・一四	(一)一・一七	(一)四・三
一〇	五、二五	六、一八	二四	二・七〇	一・一五	(一)一・五七	(一)四・二
一一	六、一一	七、五	二四	二・八三	一・二〇	(一)一・四四	(一)三・七
一二	六、一八	七、一六	二八	二・九〇	一・一五	(一)一・三七	(一)四・二
一三	七、九	七、三〇	二一	二・七〇	一・一二	(一)一・五七	(一)四・五
一四	七、二二	八、一二	二一	二・九〇	一・一三	(一)一・三七	(一)四・四
一五	八、四	—	—	—	—	—	—

備考　大正八年八月廿五日の暴風にて倒伏せり、當時花穗抽出中なりき

(丙)　北　蕉

	心葉抽出し始めたる日	心葉充分開展したる日	心葉の抽出より開展に至る日數	葉の長	葉の幅	最初の葉の大さとの差 長	最初の葉の大さとの差 幅
	大正七年 月 日	大正七年 月 日		尺寸分	尺寸分	尺寸分	尺寸分
一	九、四	一〇、一	二七	三・六四	一・四五	—	—
二	九、二六	一〇、一九	二三	三・五〇	一・五一	(一)一・四	六
三	一〇、一六	一一、二五	四〇	三・七〇	一・四〇	六	(一)五
四	一一、五	一二、一九	四四	三・四五	一・二六	(一)一・九	(一)一・九
五	一二、一一	八、二、二四	七五	三・三〇	一・一〇	(一)三・四	(一)三・五
六	八、二、一〇	四、二〇	六九	三・五〇	九・五	(一)一・四	(一)五・〇
七	四、九	五、一〇	三一	三・二五	一・〇五	(一)三・九	(一)四・〇
八	五、一	五、二六	二五	三・二〇	一・一〇	(一)四・四	(一)三・五
九	五、二〇	六、二	一三	二・八五	一・三〇	(一)七・九	(一)一・五

一〇	六、六	六、二六	二三	二九・〇	一・三〇	(−)七・四	(−)二・五
一一	六、二三	七、一三	二〇	二九・〇	一・二三	(−)七・四	(−)三・三
一二	七、八	七、二四	二三	二九・〇	一・二〇	(−)七・四	(−)三・五
一三	七、二六	八、一八	二一	二八・〇	一・三〇	(−)八・四	(−)二・五
一四	八、一〇	九、一三	二四	三〇・〇	一・三八	(−)六・四	(−)一・七
一五	八、三〇	九、二三	二三	三〇・五	一・二〇	(−)五・九	(−)三・五
一六	九、一六	一〇、二四	一七	二八・〇	一・一五	(−)八・四	(−)三・〇
一七	九、三〇	一〇、一六	二六	二六・〇	一・〇五	(−)一〇・四	(−)四・〇
一八	一〇、一〇	一一、三	二三	二六・一	一・〇三	(−)一〇・三	(−)四・三
一九	一一、二	—	—	—	—	(−)—	—

備考　降雨なく天氣繼續する時は葉萎凋することあるも甚しく衰弱することなし

(6) 小結

上記成績より對照區と比較すへく數字を掲くれば次の如し。

區	種	最初葉抽出期	最終葉抽出期	葉數	終局	自大正七年九月至八年七月葉數	同上對照區との差	自大正七年九月至八年七月一葉抽出始より展開に至る平均日數	同上對照區との差
對照區	仙人種	七年七月二三日	八年八月二日	二三	暴風折	一七枚	—	三〇・六日	—
	高脚種	六、一七	七、三、二	二一	事故	—	—	—	—
	北蕉	六、一八	八、七、三	二〇	暴風折	一四	—	二八・八六	—
一心葉區(1)	仙人種	六、八	六、二七	一三	枯死	—	—	—	—
	高脚種	六、八	七、七、二六	六	枯死	—	—	—	—
	北蕉	六、九	七、三〇	六	枯死	—	—	—	—
一心葉區(2)	仙人種	九、五	八、八、一三	二〇	暴風折	一九	(+)二枚	二四・一一	(+)二・〇五日
	高脚種	九、五	七、一一、四	五	枯死	—	—	—	—
	北蕉	九、五	八、一一、七	二六	枯死	一七	(+)三	二七・四一	(−)一・四五
二葉區	仙人種	九、二	一二、二	二四	生存	一八	(+)一	二五・九〇	(+)三・四四
	高脚種	九、二	一〇、二五	二五	生存	一九	—	二四・二六	—
	北蕉	八、三〇	一一、五	二六	生存	一七	(+)三	二六・〇六	(−)二・八〇
斷根區	仙人種	九、二	一一、五	二六	花穗出	二〇	(−)七	二八・九〇	(+)一・八四
	高脚種	九、四	八、四	一五	暴風折	一四	—	三一・五〇	—
	北蕉	九、四	一一、二	一九	生存	二三	(−)一	三四・〇〇	(+)五・一四

又一心葉區(1)を同時に觀測したる別途設定の對照區と比較するに左表の如し。

區	種	最初の葉抽出期	最終葉抽出期	葉數	終局	自大正七年六月至同年七月葉數	同上對照區との差	自大正七年六月至同年七月一葉成形平均日數	同上對照區との差
對照區	仙人種	七年六月一八日	七年八月八日	五枚	生存	四枚	—	一四・五〇日	—
	高脚種	六、一八	八、八	五	生存	四	—	一四・七五	—
	北蕉	六、一八	八、一〇	四	生存	三	—	二一・三三	—
一心葉區(1)	仙人種	六、八	八、六、二七	一三	枯死	六	(+)二	一一・六七	(−)二・八三
	高脚種	六、八	七、七、二六	六	枯死	六	(+)二	一二・三三	(−)二・四二
	北蕉	六、九	七、三〇	六	枯死	六	(+)三	一三・〇〇	(−)八・三三

上掲二表によれは剪葉即ち一心葉區は對照區に比し一定日數內に抽出さるゝ葉數多く、又葉が抽出始より開展に至る日數は短縮せられ、且後出の葉は漸次小形となり、剪去すること六枚乃至二十六枚にして根株は貯藏養分を全く消費して生存すること能はず遂に枯死せり。

又二葉區は葉の狀態は一心葉區に近似せるも一心葉區の如く早く枯死することなし。

又斷根區は一定日數內の葉數減少し、且一葉を形成するに要する日數は甚しく延長せらるゝも葉の大さは甚しき變化を來すことなく、又乾天には葉は萎凋することあるも決して枯死することなく遂には花穗を抽出す。

剪葉區に於ける北蕉及高脚種の枯死しかゝれる根株を取り其內部を檢査したるに貯藏澱粉を全く消費し肉眼的には飴色にして半透明をなし、假令沃度沃度加里液を以て處理するも全く澱粉存在の反應なく、更に顯微鏡を以て檢したるも全く澱粉粒の存在を認めざりき。猶還元糖に就き檢査したるも之れ亦殆と存在せす。酸化酵素及過酸化酵素の反應全くなく、カタラーゼは適量の存在を認めたり。

此試驗に於ては北蕉は最も持久力弱く、高脚種之に亞ぎて共に弱きも仙人種は著しく强し。是れ仙人種は勢力旺盛なる品種にして且萎縮病に對しても抵抗性强き程のものなる爲ならん。

(二) 第二回試驗

試驗開始期には豫め栽植したるものゝ內より同樣なる發育をなしたるものを選出し、各區一株及心葉區に於て二株を當てたり。而して試驗開始當時剪去したる葉數及其大さ及假莖の大さ等は別表に揭けたり。

一心葉區は心葉一枚を殘し既成葉は悉く剪去し此心葉が充分開展したる後約一週間乃至十日後に剪去せり。此當時に至れば新心葉は常に圓柱狀をなして抽出せり。即ち此區に於ては或時期には未開展の棒狀なる心葉のみ殘さるゝことあり、又或る時期には充分開展せる一葉を存することあり。

又斷根區は根株の周圍約五寸を隔てゝ深さ約一尺の溝を掘り廻して根を切り、直ちに元の如く土を埋め毎月一回宛最終迄之を繼續せり。

(1) 對照區

(甲) 仙人種

大正九年十一月十六日即ち試驗開始期に於て既成葉全部を測定したるに左表の如し。

	葉長（尺寸分）	葉幅（尺寸分）
最下葉	二・三・〇	一・一・〇
第二葉	二・五・〇	一・一・〇
第三葉	二・七・〇	一・四・五
第四葉	三・一・〇	一・四・〇
第五葉	三・一・〇	一・六・〇
第六葉	三・五・〇	一・四・〇
第七葉	三・四・〇	一・四・六
第八葉	三・四・〇	一・四・〇
第九葉	三・五・五	一・六・〇
第一〇葉	三・八・〇	一・五・二

當時假莖の高さは三尺四寸にして其莖周一尺一寸九分なりき。

	心葉抽出し始めたる日 大正年、月、日	心葉充分開展したる日 大正年、月、日	心葉の抽出より開展に至る日數	葉の長 尺寸分	葉の幅 尺寸分	最初の葉の大きさの差 長 尺寸分	最初の葉の大きさの差 幅 尺寸分
一	九、一一、一九	九、一二、一九	三〇	三・九・〇	一・六・〇	—	—
二	一二、五	一〇、一、二六	五二	三・九・一	一・六・五	一	五
三	一〇、一、二	三、一	五八	四・〇・一	一・四・〇	一・一	(−)二・〇
四	二、九	三、二四	四三	三・九・五	一・四・〇	五	(−)二・〇
五	三、一五	四、二三	三九	四・四・〇	一・四・一	五・〇	(−)一・九
六	四、二二	五、二二	三〇	四・三・〇	一・五・三	四・〇	(−)七
七	四、二〇	五、二〇	三〇	四・五・〇	一・六・四	六・〇	四
八	五、一	五、二七	二六	四・五・二	一・六・三	六・二	三
九	五、一二	六、一〇	二九	四・八・三	一・八・〇	九・三	二・〇
一〇	五、二〇	六、二四	三五	五・〇・八	一・七・八	一・一・八	一・八
一一	六、一五	七、九	二四	五・一・〇	一・九・三	一・二・〇	三・三
一二	六、二九	七、二九	三〇	五・一・七	一・九・七	一・二・七	三・七
一三	七、一八	—	—	—	—	—	—
一四	八、五	—	—	—	—	—	—

備考　大正十年八月六日暴風の爲倒伏す

(乙) 高脚種

大正九年十一月十六日既成葉全部を測定したるに左表の如し。

	葉長 尺寸分	葉幅 尺寸分
最下葉	三・二・〇	一・四・九
第二葉	三・一・〇	一・四・四
第三葉	三・三・五	一・七・五
第四葉	三・六・〇	一・七・〇
第五葉	三・六・五	一・六・〇
第六葉	四・〇・〇	一・七・〇
第七葉	三・七・〇	一・六・〇
第八葉	四・三・〇	一・七・〇
第九葉	四・二・〇	一・八・〇

當時假莖の高四尺一寸〇分其莖周一尺二寸〇分なりき。

	心葉抽出し始めたる日 大正年、月、日	心葉充分開展したる日 大正年、月、日	心葉の抽出より開展に至る日數	葉の長 尺寸分	葉の幅 尺寸分	最初の葉の大きさの差 長 尺寸分	最初の葉の大きさの差 幅 尺寸分
一	九、一一、四	九、一二、七	三三	四・五・〇	一・七・〇	—	—
二	一一、二四	一二、二四	三〇	四・四・〇	一・七・五	(−)一・〇	五
三	一二、三	一〇、一、一三	四一	四・五・三	一・七・五	三	五
四	一〇、一、七	二、二八	五二	四・五・八	一・七・一	八	一
五	二、一六	三、三一	四三	四・三・〇	一・四・九	(−)二・〇	(−)二・一
六	三、一七	四、一二	二六	四・五・〇	一・六・〇	〇	(−)一・〇

七	四、一一	四、二六	一五	四・八・五	一・七・三	三・五	三
八	四、一八	五、六	一八	四・九・〇	二・一・〇	四・〇	四・〇
九	四、二九	五、三〇	三一	五・一・〇	二・三・五	六・〇	六・五
一〇	五、一二	六、二	二一	四・八・七	二・一・三	三・七	四・三
一一	六、四	六、二五	二一	四・九・八	二・二・〇	四・八	五・〇
一二	六、一六	七、一六	三〇	五・一・三	二・三・〇	六・三	六・〇
一三	七、四	七、二六	二二	五・一・〇	二・三・三	六・〇	六・三
一四	七、三〇	―	―	―	―	―	―

備考　大正十年八月六日暴風の爲倒伏せり

（丙）北蕉

大正九年十一月十六日既成葉全部を測定したるに各葉の大さは左表の如し。

	葉長（尺寸分）	葉幅（尺寸分）
最下葉	二・一・〇	一・一・二
第二葉	二・三・〇	一・三・五
第三葉	二・七・〇	一・三・八
第四葉	二・六・〇	一・一・二
第五葉	二・五・〇	一・一・三
第六葉	二・九・五	一・二・〇
第七葉	三・二・〇	一・五・〇
第八葉	三・〇・三	一・四・〇

當時の假莖の高さは二尺七寸〇分にして其莖周一尺〇寸一分なりき。

	心葉抽出し始めたる日（月日）	心葉充分開展したる日（月日）	心葉の抽出より開展に至る日數	葉の長（尺寸分）	葉の幅（尺寸分）	最初の葉の大さとの差 長（尺寸分）	最初の葉の大さとの差 幅（尺寸分）
一	大正九年 一一、一〇	大正九年 一二、四	二四	三・二・五	一・二・五	―	―
二	一一、二三	一二、二三	三〇	三・五・〇	一・三・二	二・五	七
三	一二、六	一〇、一、一四	三九	三・五・〇	一・四・〇	二・五	一・五
四	一二、三〇	二、二四	五六	三・六・二	一・二・六	三・七	一
五	一〇、一、二九	三、一四	四四	三・七・〇	一・三・〇	四・五	五
六	二、二八	三、二九	二九	四・〇・〇	一・一・三	七・五	㈠一・三
七	三、一九	四、一五	二七	四・二・〇	一・三・二	九・五	七
八	四、六	四、二六	二〇	四・〇・〇	一・四・三	七・五	一・八
九	四、一八	五、七	一九	四・三・〇	一・七・〇	一・〇・五	四・五
一〇	四、三〇	五、二三	二三	四・四・〇	一・九・六	一・一・五	七・一
一一	五、九	六、四	二六	四・五・〇	二・一・五	一・二・五	九・〇
一二	五、二四	六、二三	二九	四・五・一	二・〇・三	一・二・六	七・八
一三	六、一〇	七、二	二二	四・五・〇	一・九・〇	一・三・〇	六・五
一四	六、二六	七、二四	二八	四・四・〇	一・八・五	一・一・五	六・〇
一五	七、二二	八、一三	二二	四・三・五	一・八・〇	一・一・〇	五・五
一六	七、三一	八、二八	二八	四・五・〇	二・〇・二	一・二・〇	七・七
一七	八、一八	九、一〇	二三	四・七・〇	二・〇・〇	一・四・五	七・五
一八	八、二七	九、二二	二五	五・〇・〇	二・〇・三	一・七・五	七・八
一九	九、九	一〇、七	二八	四・九・三	一・八・五	一・六・八	六・〇
二〇	九、二三	一〇、二一	二八	四・六・〇	一・六・〇	一・三・五	三・五

二一	一〇、一三	一一、一五	三三	四・三・〇	一・四・五	一・〇・五	二・〇
二二	一一、三	一二、二七	五四	四・二・〇	一・四・五	九五	二・〇
二三	一二、一	一一、一、二三	五三	四・六・〇	一・六・八	一・三・五	四・三
二四	一一、一、六	二、一九	四一	四・五・六	一・五・五	一・三・一	三・〇
二五	二、二	三、二五	五一	—	—	—	—
二六	三、七	四、二六	五〇	—	—	—	—
二七	四、一	—	—	—	—	—	—

備考　大正十一年四月一日花穗を抽出す

（一）心葉區（一）

（甲）仙人種

大正九年十月七日既成葉全部を剪去せり、其當時の各葉の大さを表示すれば左の如し。

	葉長（尺寸分）	葉幅（尺寸分）
最下葉	一・八・五	七・六
第二葉	一・八・〇	七・五
第三葉	一・八・〇	八・〇
第四葉	二・一・〇	一・一・一
第五葉	二・四・〇	一・二・〇
第六葉	二・七・〇	一・二・六
第七葉	二・七・〇	一・三・六
第八葉	三・〇・五	一・六・〇
第九葉	三・〇・〇	一・三・五
第一〇葉	三・四・七	一・四・〇
第一一葉	三・六・〇	一・七・〇
第一二葉	三・六・〇	一・八・〇

	心葉抽出し始めたる日（大正年 月 日）	心葉充分開展したる日（大正年 月 日）	心葉の抽出より開展に至る日數	葉の長（尺寸分）	葉の幅（尺寸分）	最初の葉の大さとの差 長（尺寸分）	最初の葉の大さとの差 幅（尺寸分）
一	九、一一、二三	九、一二、二七	三四	三・七・〇	一・四・一	—	—
二	一一、五	一二、五	三〇	三・五・二	一・五・〇	(-)一・八	九
三	一一、二四	一二、一五	二一	三・七・五	一・五・〇	五	九
四	一二、四	一二、二九	二五	三・九・〇	一・五・八	二・〇	一・七
五	一二、七	一〇、一、一二	三六	三・八・〇	一・四・〇	一・〇	(-)一
六	一〇、一、五	二、一七	四三	三・六・二	一・三・〇	(-)八	(-)一・一
七	一、二七	三、一一	四三	三・六・〇	一・一・五	(-)一・〇	(-)二・六
八	二、八	三、二三	四三	三・四・〇	九・九	(-)三・〇	(-)四・二
九	三、一四	四、一〇	二七	三・六・六	九・八	(-)四	(-)四・三
一〇	三、三一	四、一九	一九	三・五・四	一・〇・七	(-)一・六	(-)三・四
一一	四、二	四、二七	一八	三・六・〇	一・二・五	(-)一・〇	(-)一・六
一二	四、二一	五、一〇	一九	三・六・〇	一・三・五	(-)一・〇	(-)六
一三	五、二	五、一八	一六	三・五・〇	一・四・一	(-)二・〇	〇
一四	五、一二	五、三〇	一八	三・五・五	一・五・〇	(-)一・五	九
一五	五、二四	六、一四	二一	三・四・〇	一・六・二	(-)三・〇	二・一
一六	六、八	六、二五	一七	三・三・〇	一・四・〇	(-)四・〇	(-)一
一七	六、二〇	七、七	一七	三・一・三	一・三・二	(-)五・七	(-)九
一八	六、二九	七、二〇	二一	三・一・七	一・二・六	(-)五・三	(-)一・五

又當時の假莖の高さは二尺八寸〇分にして莖周一尺〇寸五分なりき。

一九	七、三	八、一〇	二九	三・一・六	一・一・五	(一)五・四	(一)二・六
二〇	七、二八	八、二〇	二三	三・〇・二	一・二・〇	(一)六・八	(一)二・二
二一	八、一五	九、四	二〇	三・一・〇	一・二・三	(一)六・〇	(一)一・八
二二	八、二三	九、一二	一九	三・〇・〇	一・一・五	(一)七・〇	(一)二・六
二三	九、一	九、一七	一六	三・一・〇	一・一・二	(一)六・〇	(一)二・九
二四	九、一〇	九、二七	一七	三・一・〇	一・三・〇	(一)六・〇	(一)一・二
二五	九、一八	一〇、六	一八	三・一・〇	一・三・〇	(一)六・〇	(一)一・二
二六	九、二八	一〇、二五	二七	三・〇・〇	一・二・九	(一)七・〇	(一)一・三
二七	一〇、一五	一一、七	二三	二・八・〇	一・一・〇	(一)九・〇	(一)三・二
二八	一〇、三〇	一一、三〇	三一	三・〇・〇	一・一・〇	(一)七・〇	(一)三・二
二九	一一、一六	一二、二〇	三四	二・九・〇	一・一・〇	(一)八・〇	(一)三・二
三〇	一二、九	一二、一、七	二九	三・一・〇	一・〇・四	(一)六・〇	(一)三・七
三一	一二、二六	三、四	四〇	三・二・〇	九・二	(一)五・〇	(一)四・九
三二	一二、一、一四	三、二七	三四	二・九・〇	九・二	(一)八・〇	(一)四・九
三三	二、一三	三、二三	二八	二・八・五	九・一	(一)八・五	(一)五・〇
三四	三、二	四、一六	三六	二・六・六	八・三	(一)一・〇・四	(一)五・八
三五	四、二	五、一	二九	二・五・五	八・五	(一)一・一・五	(一)五・六
三六	四、二三	五、一六	二三	二・四・五	八・八	(一)一・二・五	(一)五・三
三七	五、八	五、二三	二三	二・四・二	一・〇・〇	(一)一・二・八	(一)四・一
三八	五、二四	六、一五	二二	二・三・五	九・八	(一)一・三・五	(一)四・三
三九	六、五	六、二七	二二	二・三・五	一・〇・〇	(一)一・三・五	(一)四・一
四〇	六、一九	七、九	二〇	二・四・〇	一・〇・二	(一)一・三・〇	(一)三・九
四一	七、四	八、二	二九	二・四・五	一・〇・〇	(一)一・二・五	(一)四・一
四二	七、二八	八、一八	二二	二・四・六	一・〇・五	(一)一・二・四	(一)三・六
四三	八、一〇	九、一〇	三二	二・三・〇	八・五	(一)一・四・〇	(一)五・六
四四	八、二四	一〇、四	四一	二・三・五	八・〇	(一)一・四・五	(一)六・二
四五	九、二五	一一、二	三九	二・〇・〇	八・〇	(一)一・七・〇	(一)六・二
四六	一〇、一四	—	—	半出	—	—	—
四七	一一、五	—	—	—	—	—	—

備考　大正十一年十二月五日根株より腐敗枯死せり

(乙) 高脚種

大正九年十月七日既成葉全部を剪去せり、其當時の各葉の大さを示せは左表の如し。

	葉長（尺・寸・分）	葉幅（尺・寸・分）
最下葉	三・一・〇	一・二・五
第二葉	三・三・五	一・四・四
第三葉	三・一・〇	一・三・〇
第四葉	三・二・五	一・三・九
第五葉	三・五・〇	一・六・〇
第六葉	三・九・〇	一・七・〇
第七葉	三・八・〇	一・七・〇
第八葉	四・三・〇	一・八・〇
第九葉	四・一・〇	一・五・〇
第一〇葉	四・三・五	一・八・五
第一一葉	四・四・五	一・九・〇

又當時の假莖の高さは四尺一寸〇分にして其莖周は一尺四寸四分なりき。

	心葉抽出し始めたる日 大正九年 月、日	心葉充分開展したる日 大正九年 月、日	心葉の抽出より開展に至る日數	葉の長 尺寸分	葉の幅 尺寸分	最初の葉の大さとの差 長 尺寸分	最初の葉の大さとの差 幅 尺寸分
一	一一、二	一一、二七	二五	四・六・〇	一・八・六		
二	一一、一六	一二、七	二一	四・六・五	一・七・〇	五	(−)一・六
三	一一、二八	一二、二四	二六	四・五・〇	一・七・三	(−)一・〇	(−)一・三
四	一二、一一	一〇、一、七	二七	四・六・五	一・七・〇	五	(−)一・六
五	一二、二八	二、一	三五	四・三・〇	一・四・六	(−)三・〇	(−)四・〇
六	一〇、一、一七	二、二八	四二	四・一・〇	一・二・〇	(−)五・〇	(−)六・六
七	二、一七	三、二三	三四	三・九・〇	一・一・〇	(−)七・〇	(−)七・六
八	三、一二	四、二	二一	三・九・〇	一・〇・〇	(−)七・〇	(−)八・六
九	三、二五	四、一五	二一	三・八・〇	一・一・三	(−)八・〇	(−)七・三
一〇	四、七	四、二六	一九	三・七・五	一・二・三	(−)八・五	(−)六・三
一一	四、一八	五、三	一五	三・九・五	一・四・〇	(−)六・五	(−)四・六
一二	四、二八	五、一二	一四	三・七・〇	一・五・〇	(−)九・〇	(−)三・六
一三	五、六	五、二三	一七	三・八・〇	一・五・一	(−)八・〇	(−)三・五
一四	五、一六	六、六	二一	三・九・〇	一・五・五	(−)七・〇	(−)三・一
一五	五、二五	六、一八	二四	三・八・〇	一・六・〇	(−)八・〇	(−)二・六
一六	六、八	六、二八	二〇	三・六・〇	一・四・五	(−)一・〇・〇	(−)四・一
一七	六、一二	七、一三	三一	三・五・五	一・四・二	(−)一・〇・五	(−)四・四
一八	七、一	七、二八	二七	三・四・〇	一・三・〇	(−)一・二・〇	(−)五・六
一九	七、一六	八、一三	二八	三・七・五	一・三・二	(−)八・五	(−)五・四
二〇	七、二三	八、二三	三一	三・七・〇	一・三・五	(−)九・〇	(−)五・一
二一	八、一四	九、六	二三	三・四・四	一・三・〇	(−)一・一・六	(−)五・六
二二	八、二六	九、一四	一九	三・〇・〇	九・八	(−)一・六・〇	(−)八・八
二三	九、七	九、二六	一九	三・二・二	一・二・〇	(−)一・三・八	(−)六・六
二四	九、一六	一〇、六	二〇	三・〇・〇	九・〇	(−)一・六・〇	(−)九・六
二五	九、二六	一〇、二六	三〇	三・二・〇	一・〇・五	(−)一・四・〇	(−)八・一
二六	一〇、一五	一一、八	二四	二・八・七	一・〇・七	(−)一・七・三	(−)七・九
二七	一〇、二九	一一、二〇	二二	二・八・〇	一・〇・〇	(−)一・八・〇	(−)八・六
二八	一一、一九	一二、一九	三〇	二・五・〇	一・〇・〇	(−)二・一・〇	(−)八・六
二九	一二、八	一一、一、一八	四一	二・六・〇	八・五	(−)二・〇・〇	(−)一・〇・一
三〇	一二、二七	二、一	三六	二・四・〇	八・五	(−)二・二・〇	(−)一・〇・一
三一	一一、一、一八	二、二四	三七	二・五・〇	七・五	(−)二・一・〇	(−)一・一・一
三二	二、一三	三、七	二二	二・四・〇	七・〇	(−)二・二・〇	(−)一・一・六
三三	三、八	三、三一	二三	二・四・五	六・〇	(−)二・一・五	(−)一・二・六
三四	三、二三	四、一四	二二	二・二・六	六・三	(−)二・三・四	(−)一・二・三
三五	四、一〇	五、五	二五	二・三・〇	六・八	(−)二・三・〇	(−)一・一・八
三六	四、二七	五、二二	二五	二・一・二	六・六	(−)二・四・八	(−)一・二・〇
三七	五、九	六、一六	三八	二・〇・〇	七・〇	(−)二・六・〇	(−)一・一・六
三八	五、三〇	六、二八	二九	一・九・〇	七・三	(−)二・七・〇	(−)一・一・三
三九	六、一九	七、一五	二六	一・九・〇	七・五	(−)二・七・〇	(−)一・一・一
四〇	七、八	七、二五	一七	一・七・五	七・〇	(−)二・八・五	(−)一・一・六
四一	七、一八	八、五	一八	一・六・八	六・八	(−)二・九・二	(−)一・一・八
四二	七、二八	八、一四	一七	一・七・〇	五・〇	(−)二・九・〇	(−)一・三・六
四三	八、六	八、二二	一六	一・七・〇	六・五	(−)二・九・〇	(−)一・二・一

四四	八、一七	八、三一	一四	一・九・〇	・七・〇	(一)二・七・〇	(一)一・一・六
四五	八、二六	九、二二	二二	一・八・〇	・七・〇	(一)二・八・〇	(一)一・一・六
四六	九、四	一〇、二	二八	一・六・〇	・七・〇	(一)三・〇・〇	(一)一・一・六
四七	九、二一	一〇、一三	二二	一・六・五	・七・〇	(一)二・九・五	(一)一・一・六
四八	一〇、五	一一、一三	三九	一・五・〇	・七・〇	(一)三・一・〇	(一)一・一・六
四九	一一、二五	—	—	半出	—	—	—

備考　株根腐敗して倒伏せり。

（丙）北蕉

大正九年十月七日既成葉全部を剪去せり。其當時の各葉の大さを示せは左表の如し。

	葉長（尺寸分）	葉幅（尺寸分）
最下葉	二・八・〇	・九・五
第二葉	三・〇・〇	・九・〇
第三葉	二・九・〇	一・〇・五
第四葉	二・八・五	一・二・〇
第五葉	二・八・五	一・二・〇
第六葉	二・七・六	一・二・二
第七葉	二・七・〇	一・三・〇
第八葉	三・三・〇	一・四・八
第九葉	三・七・五	一・九・〇
第一〇葉	三・四・〇	一・六・〇
第一一葉	三・九・〇	一・四・三
第一二葉	三・五・〇	一・四・三
第一三葉	三・五・〇	一・三・〇
第一四葉	三・四・〇	一・三・〇
第一五葉	三・五・〇	一・四・〇
第一六葉	三・三・〇	一・三・〇
第一七葉	三・三・〇	一・一・〇

又當時の假莖の高さは三尺四寸〇分にして莖周は一尺三寸三分なりき。

	心葉抽出し始めたる日（大正年、月、日）	心葉充分開展したる日（大正年、月、日）	心葉の抽出より開展に至る日數	葉の長（尺寸分）	葉の幅（尺寸分）	最初の葉の大さとの差 長（尺寸分）	最初の葉の大さとの差 幅（尺寸分）
一	九、一一、四	九、一一、二八	二四	三・二・八	一・二・〇	—	—
二	一一、一六	一二、一〇	二四	三・七・五	一・四・〇	四・七	二・〇
三	一二、一	一二、二八	二七	四・一・五	一・五・〇	八・七	三・〇
四	一二、一六	一〇、一、二三	三八	四・四・八	一・四・八	一・二・〇	二・八
五	一〇、一、八	二、二六	四九	四・四・〇	一・六・〇	一・一・二	四・〇
六	二、八	三、二一	四一	四・三・〇	一・五・五	一・〇・二	三・五
七	三、六	四、五	三〇	四・〇・〇	一・四・〇	七・二	二・〇
八	三、二一	四、一七	二七	四・〇・〇	一・二・〇	七・二	〇
九	四、六	四、二七	二一	四・〇・〇	一・四・〇	七・二	二・〇
一〇	四、一九	五、六	一七	四・一・二	一・六・五	八・四	四・五
一一	四、三〇	五、一六	一六	三・九・六	一・六・五	六・八	四・五
一二	五、一〇	五、二七	一七	四・〇・二	一・七・〇	七・四	五・〇
一三	五、一八	六、九	二二	三・九・〇	一・八・五	六・二	六・五
一四	六、二	六、二三	二一	三・九・二	一・九・三	六・四	七・三
一五	六、一五	七、一二	二七	三・八・〇	一・七・五	五・二	五・五
一六	七、三	七、二二	一九	四・〇・〇	一・六・五	七・二	四・五
一七	七、一二	七、三一	一九	三・七・〇	一・四・二	四・二	二・二
一八	七、二三	八、一〇	一八	三・四・〇	一・三・〇	一・二	一・〇

番號	心葉抽出し始めたる日（大正年、月、日）	心葉充分開展したる日（大正年、月、日）	心葉の抽出より開展に至る日數	葉の長（尺寸分）	葉の幅（尺寸分）	最初の葉の大さとの差 長（尺寸分）	最初の葉の大さとの差 幅（尺寸分）
一九	八、五	八、二三	一八	三・二〇	一・二四	八	四
二〇	八、一九	九、九	二一	二・九五	一・一〇	(一)三・三	(一)一・〇
二一	八、二六	九、一四	一七	二・七〇	九・〇	(一)五・八	(一)三・〇
二二	九、八	九、二四	一六	二・八〇	九・〇	(一)四・八	(一)三・〇
二三	九、一六	一〇、六	二一	二・七〇	一・〇二	(一)五・八	(一)一・八
二四	九、二五	一〇、一八	二四	二・六〇	一・〇〇	(一)六・八	(一)二・〇
二五	一〇、七	一一、二	二六	二・五六	一・〇〇	(一)七・三	(一)二・〇
二六	一〇、二〇	一一、一四	二五	二・四〇	八・五	(一)八・八	(一)三・五
二七	一一、四	一二、一三	三九	二・三〇	八・四	(一)九・八	(一)三・六
二八	一一、二六	一二、二六	三〇	二・一〇	七・五	(一)一・一八	(一)四・五
二九	一二、一六	一一、一、一三	三六	二・〇〇	八・〇	(一)一・三八	(一)四・〇
三〇	一一、一、七	二、一八	四二	二・一五	七・〇	(一)一・一三	(一)五・〇
三一	二、一	三、一二	三九	二・一〇	七・二	(一)一・一八	(一)四・八
三二	二、二一	三、二六	三三	二・〇〇	六・三	(一)一・二八	(一)五・七
三三	三、一六	四、二〇	三五	一・五〇	五・八	(一)一・七八	(一)六・二
三四	四、五	五、二	二七	半出	―	―	―
三五	四、二四	―	―	―	―	―	―

備考　大正十一年五月二十二日根元より腐敗倒伏せり。

(3) 一心葉區（二）

（甲）仙人種

大正九年十月七日既成葉全部を剪去せり。其當時の各葉の大さは左表の如し。

	葉長（尺寸分）	葉幅（尺寸分）
最下葉	二・一七	一・一〇
第二葉	二・八〇	一・二〇
第三葉	二・五〇	一・二〇
第四葉	二・六〇	一・二〇
第五葉	二・九〇	一・三七
第六葉	三・〇〇	一・四五
第七葉	三・五〇	一・五五
第八葉	三・三〇	一・五〇
第九葉	三・七〇	一・四五
第一〇葉	三・五三	一・五〇
第一一葉	三・七〇	一・七〇
第一二葉	三・八〇	一・七五
第一三葉	四・二〇	一・七八

又當時假莖の高さ三尺一寸〇分にして其莖周一尺一寸二分なりき。

	心葉抽出し始めたる日（大正年、月、日）	心葉充分開展したる日（大正年、月、日）	心葉の抽出より開展に至る日數	葉の長（尺寸分）	葉の幅（尺寸分）	最初の葉の大さとの差 長（尺寸分）	最初の葉の大さとの差 幅（尺寸分）
一	九、一一、四	九、一一、二七	二三	四・〇五	一・八〇	―	―
二	一一、一八	一二、八	二〇	四・一〇	一・五〇	五	(一)三・〇
三	一二、一	一二、二九	二八	四・三五	一・六〇	三・〇	(一)二・〇
四	一二、一六	一〇、一、一〇	二五	四・三五	一・五〇	三・〇	(一)三・〇
五	一〇、一、四	二、一四	四一	四・三〇	一・四五	二・五	(一)三・五
六	一、二五	三、二	三六	三・九八	一・三三	(一)八	(一)四・七
七	二、二二	三、二〇	二六	三・八〇	一・〇〇	(一)二・五	(一)八・〇
八	三、一三	四、二	二〇	三・八五	九・五	(一)二・〇	(一)八・五

九	三、二六	四、一六	二一	三・七・六	一・〇・八	(一)二・九	(一)七・三
一〇	四、一〇	四、二七	一七	三・八・五	一・三・六	(一)二・〇	(一)四・四
一一	四、二二	五、九	一七	三・七・〇	一・三・八	(一)三・五	(一)四・二
一二	五、一	五、一八	一七	三・八・四	一・五・〇	(一)二・二	(一)三・〇
一三	五、一一	五、二九	一八	三・九・〇	一・六・〇	(一)一・五	(一)二・〇
一四	五、二三	六、一六	二四	三・七・〇	一・六・三	(一)三・五	(一)一・七
一五	六、七	六、二六	一九	三・六・〇	一・四・五	(一)四・五	(一)三・五
一六	六、二二	七、一七	二五	三・三・〇	一・四・〇	(一)七・五	(一)四・〇
一七	七、五	八、八	三四	三・四・〇	一・二・五	(一)六・五	(一)五・五
一八	七、一五	八、二三	三九	三・一・三	一・一・九	(一)九・二	(一)六・二
一九	八、一四	八、三一	一七	三・一・五	一・一・八	(一)九・〇	(一)六・二
二〇	八、二四	九、一三	二〇	三・三・〇	一・一・三	(一)七・五	(一)六・八
二一	九、三	九、二三	二〇	三・二・二	一・一・〇	(一)八・三	(一)七・〇
二二	九、一三	一〇、五	二二	三・二・〇	一・一・五	(一)八・五	(一)六・五
二三	九、二三	一〇、二三	三〇	三・〇・〇	一・〇・八	(一)一・〇・五	(一)七・二
二四	一〇、九	一一、九	三一	三・一・〇	一・一・一	(一)九・五	(一)六・九
二五	一一、一	一二、五	三四	二・八・三	一・〇・三	(一)一・二・三	(一)七・八
二六	一一、二四	一二、二八	三四	二・八・五	一・〇・〇	(一)一・二・〇	(一)八・〇
二七	一二、一七	二、二、一	四六	三・二・〇	九・六	(一)八・五	(一)八・四
二八	二、一、八	二、二三	四六	三・一・〇	八・五	(一)九・五	(一)九・五
二九	二、一〇	四、一	五〇	三・〇・〇	八・五	(一)一・〇・五	(一)九・五
三〇	二、二七	四、三	三五	二・四・〇	八・〇	(一)一・六・五	(一)一・〇・〇
三一	四、七	五、一一	三四	二・四・七	八・六	(一)一・五・八	(一)九・四
三二	五、一	五、二五	二四	二・四・五	八・五	(一)一・六・〇	(一)九・五
三三	五、二〇	六、一〇	二一	二・三・五	八・七	(一)一・八・〇	(一)九・三
三四	六、二	六、二九	二七	二・三・〇	八・三	(一)一・七・五	(一)九・七
三五	六、一七	七、八	二一	二・四・〇	八・五	(一)一・六・五	(一)九・五
三六	七、四	七、二八	二四	二・三・三	八・五	(一)一・八・二	(一)九・五
三七	七、二五	八、一一	一七	二・四・〇	九・〇	(一)一・六・五	(一)九・〇
三八	八、二	八、二九	二七	二・三・〇	八・五	(一)一・七・五	(一)九・五
三九	八、二〇	九、一三	二四	二・三・五	七・五	(一)一・八・〇	(一)一・〇・五
四〇	九、九	一〇、一〇	三一	二・三・〇	七・五	(一)一・八・五	(一)一・〇・五
四一	一〇、五	一一、二九	五五	二・〇・八	七・〇	(一)一・九・七	(一)一・一・〇
四二	一一、二	一二、二九	五七	二・〇・〇	六・四	(一)二・〇・五	(一)一・一・六
四三	一二、八	—	—	半出	—	—	—
四四	三、一、一九	—	—	—	—	—	—

備考 根株より腐敗枯死せり。

(乙) 高脚種

大正九年十月七日既成葉全部を剪去せり。其當時の各葉の大さは左表の如し。

	葉長（尺寸分）	葉幅（尺寸分）
最下葉	三・三・三	一・五・〇
第二葉	三・二・〇	一・四・五
第三葉	三・五・〇	一・四・八
第四葉	三・四・〇	一・四・〇
第五葉	三・四・五	一・七・〇
第六葉	三・九・〇	一・七・〇
第七葉	三・七・〇	一・七・〇
第八葉	四・三・〇	一・七・五
第九葉	四・一・〇	一・六・〇
第一〇葉	四・二・五	一・六・〇
第一一葉	四・三・〇	一・六・〇

又當時假莖の高さは四尺にして其莖周は一尺二寸五分なりき。

	心葉抽出し始めたる日（大正年 月 日）	心葉充分開展したる日（大正年 月 日）	心葉の抽出より開展に至る日數	葉の長（尺寸分）	葉の幅（尺寸分）	最初の葉の大さの差 長（尺寸分）	最初の葉の大さの差 幅（尺寸分）
一	九、一一、一	九、一一、二四	二三	四・四・五	一・六・〇	—	—
二	一一、一五	一二、八	二三	四・四・〇	一・七・〇	(−)五	一・〇
三	一一、三〇	一二、二五	二五	四・三・〇	一・七・〇	(−)一・五	一・〇
四	一二、一一	一〇、一、七	二七	四・五・〇	一・五・〇	五	(−)一・〇
五	一二、二九	二、五	三八	四・五・〇	一・四・五	五	(−)一・五
六	一〇、一、二四	二、二三	三〇	四・〇・五	一・三・五	(−)四・〇	(−)三・五
七	二、二三	三、二四	二九	三・九・五	一・〇・五	(−)五・〇	(−)五・五
八	三、二二	四、三	一二	三・七・〇	一・〇・〇	(−)七・五	(−)六・〇
九	三、二二	四、一五	二四	三・八・五	一・〇・〇	(−)六・〇	(−)六・〇
一〇	四、五	四、二一	一六	三・八・三	一・三・三	(−)六・三	(−)二・七
一一	四、一四	四、二八	一四	四・〇・五	一・四・五	(−)四・〇	(−)一・五
一二	四、二四	五、九	一五	三・八・四	一・五・三	(−)六・一	(−)八
一三	五、一	五、一六	一五	三・九・五	一・五・五	(−)五・〇	(−)五
一四	五、一〇	五、二六	一六	三・九・八	一・六・〇	(−)四・八	〇
一五	五、二〇	六、一四	二五	四・〇・〇	一・七・八	(−)四・五	一・八
一六	六、六	六、三〇	二四	三・七・〇	一・五・〇	(−)七・五	(−)一・〇
一七	六、二〇	七、一八	二八	三・六・〇	一・四・〇	(−)八・五	(−)二・〇
一八	七、五	八、一	二七	三・七・五	一・三・三	(−)七・〇	(−)二・八
一九	七、二〇	八、一四	二五	三・七・〇	一・三・五	(−)七・五	(−)二・五
二〇	八、五	八、二五	二〇	三・三・〇	一・一・六	(−)一・一・五	(−)四・四
二一	八、一五	九、八	二四	三・一・五	一・一・〇	(−)一・三・〇	(−)五・〇
二二	八、二八	九、一五	一八	三・三・〇	九・〇	(−)一・一・五	(−)七・〇
二三	九、九	一〇、一	二二	三・二・〇	一・〇・八	(−)一・二・五	(−)五・二
二四	九、二〇	一〇、一九	二九	三・三・三	一・二・三	(−)一・一・二	(−)三・七
二五	一〇、六	一一、五	三〇	二・八・六	一・一・三	(−)一・五・九	(−)四・八
二六	一〇、二四	一一、二九	三六	二・七・五	九・〇	(−)一・七・〇	(−)七・〇
二七	一一、一七	一二、一一	二四	二・七・〇	九・三	(−)一・七・五	(−)六・八
二八	一二、七	一一、一、一九	四三	二・九・〇	八・三	(−)一・五・五	(−)七・七
二九	一一、一、一	二、九	三九	二・九・三	七・五	(−)一・五・二	(−)八・五
三〇	一、二五	二、二八	三四	二・九・五	七・三	(−)一・五・〇	(−)八・八
三一	二、一七	三、二五	三六	二・五・三	六・八	(−)一・九・二	(−)九・二
三二	三、二二	四、一四	二三	二・四・〇	七・〇	(−)二・〇・五	(−)九・〇
三三	四、一	五、一〇	三九	二・三・〇	七・〇	(−)二・三・〇	(−)九・〇

三四	五、五	五、二八	二三	二・一・五	七・五	(−)二・三・〇	(−)八・五
三五	五、二一	六、一〇	二〇	二・一・〇	七・〇	(−)二・三・五	(−)九・〇
三六	六、三	七、一	二八	二・〇・〇	七・五	(−)二・四・五	(−)八・五
三七	六、二一	七、一七	二六	一・九・〇	七・三	(−)二・五・五	(−)八・七
三八	七、九	七、二八	一九	一・八・〇	六・五	(−)二・六・五	(−)九・五
三九	七、三〇	八、六	七	一・七・五	六・〇	(−)二・七・〇	(−)一・〇・〇
四〇	八、一	八、一五	一四	一・八・七	六・五	(−)二・五・八	(−)九・五
四一	八、九	八、二二	一三	二・〇・〇	七・五	(−)二・四・五	(−)八・五
四二	八、一九	九、一七	二九	二・〇・〇	七・八	(−)二・四・五	(−)八・二
四三	九、二	九、二五	二三	二・〇・〇	七・五	(−)二・四・五	(−)八・五
四四	九、一五	—	—	—	—	—	—

備考　大正十一年九月廿八日暴風雨の爲倒伏せり。

(丙) 北蕉

大正九年十月六日既成葉全部を剪去せり。其當時の各葉の大さを示せは左表の如し。

	葉長（尺・寸・分）	葉幅（尺・寸・分）
最下葉	二・五・〇	一・二・五
第二葉	二・五・五	一・一・五
第三葉	二・五・〇	一・二・五
第四葉	二・七・五	一・七・〇
第五葉	三・一・〇	一・三・五
第六葉	三・三・〇	一・四・五
第七葉	三・六・六	一・五・五
第八葉	三・七・〇	一・六・〇
第九葉	三・七・一	一・六・八
第一〇葉	三・五・〇	一・六・二
第一一葉	四・〇・〇	一・七・六
第一二葉	四・三・五	一・九・〇
第一三葉	四・三・〇	二・〇・〇

又當時の假莖の高さは三尺四寸〇分にして其莖周は一尺二寸六分なりき。

	心葉抽出し始めたる日（大正九年 月、日）	心葉充分開展したる日（大正九年 月、日）	心葉の抽出より開展に至る日數	葉の長（尺・寸・分）	葉の幅（尺・寸・分）	最初の葉の大さとの差 長（尺・寸・分）	最初の葉の大さとの差 幅（尺・寸・分）
一	二、四	二、二六	二四	四・三・〇	一・九・〇	—	—
二	二、一七	三、八	二一	四・一・〇	一・七・八	(−)二・〇	(−)一・二
三	三、一三	三、二九	一六	三・九・八	一・八・〇	(−)三・二	(−)一・〇
四	三、一八	一〇、一、一四	二七	四・三・〇	一・六・五	〇	(−)二・五
五	一〇、一、八	二、一四	四七	四・二・五	一・五・五	(−)五	(−)三・五
六	二、四	三、二〇	四四	三・七・〇	一・二・八	(−)六・〇	(−)七・二
七	三、一	四、三	四二	四・〇・二	一・二・四	(−)二・八	(−)七・六
八	四、一	四、一四	一三	四・〇・〇	一・四・〇	(−)三・〇	(−)五・〇
九	四、一五	五、四	一九	四・〇・〇	一・五・五	(−)三・〇	(−)三・五
一〇	四、二六	五、一三	一七	三・八・〇	一・六・〇	(−)五・〇	(−)三・〇
一一	五、六	五、二五	一九	三・七・〇	一・六・九	(−)六・〇	(−)二・一
一二	五、一六	六、五	二〇	三・七・〇	一・八・〇	(−)六・〇	(−)一・〇
一三	五、三〇	六、二四	二五	三・五・〇	一・六・〇	(−)八・〇	(−)三・〇
一四	六、一四	七、一四	三〇	三・四・五	一・四・三	(−)八・五	(−)四・八
一五	六、二七	七、二三	二六	三・一・五	一・四・一	(−)一・一・五	(−)四・九
一六	七、一〇	八、八	二九	三・三・〇	一・三・五	(−)一・〇・〇	(−)五・五
一七	七、二六	八、二五	三〇	三・三・六	一・三・〇	(−)九・四	(−)六・〇
一八	八、一六	九、七	二二	三・一・〇	一・一・三	(−)一・二・〇	(−)六・七
一九	八、二七	九、一五	一九	三・〇・五	一・〇・三	(−)一・二・五	(−)八・八

二〇	九、七	九、二二	一五	二・九・〇	一・〇・〇	(−)一・四・〇	(−)九・〇
二一	九、一七	一〇、七	二〇	二・九・三	一・一・〇	(−)一・三・七	(−)八・〇
二二	九、二六	一〇、一八	二二	二・八・〇	一・〇・八	(−)一・五・〇	(−)八・二
二三	一〇、八	一一、二	二五	二・七・〇	一・〇・五	(−)一・六・〇	(−)八・五
二四	一〇、二〇	一一、一五	二六	二・七・五	一・〇・〇	(−)一・五・五	(−)九・〇
二五	一一、一三	一二、八	二五	二・七・〇	一・〇・〇	(−)一・六・〇	(−)九・〇
二六	一一、二〇	一二、二三	三三	二・七・〇	一・〇・〇	(−)一・六・〇	(−)九・〇
二七	一二、一一	一一、一、一九	三九	二・六・五	九・六	(−)一・六・五	(−)九・四
二八	一二、二八	二、四	三八	二・六・〇	九・〇	(−)一・七・〇	(−)一・〇・〇
二九	一一、一、二〇	三、一	四〇	二・四・五	八・八	(−)一・八・五	(−)一・〇・二
三〇	二、一三	三、二五	四〇	二・三・〇	八・六	(−)二・〇・〇	(−)一・〇・四
三一	三、一二	四、二四	四三	二・一・〇	八・〇	(−)二・二・〇	(−)一・一・〇
三二	四、一二	五、九	二七	二・一・〇	八・八	(−)二・二・〇	(−)一・〇・二
三三	四、三〇	五、二七	二七	一・八・三	八・〇	(−)二・四・七	(−)一・一・〇
三四	五、一四	六、二	一九	一・八・〇	八・〇	(−)二・五・〇	(−)一・一・〇
三五	五、三〇	七、七	三八	一・八・〇	七・七	(−)二・五・〇	(−)一・一・三
三六	六、一六	—	—	半出	—	—	—
三七	八、一	—	—	—	—	—	—

備考 大正十一年十月六日根株腐敗枯死せり。

(4) 斷根區

(甲) 仙人種

大正九年十月七日既成葉全部を測定したるに當時の各葉の大さは左表の如し。

	葉長 (尺寸分)	葉幅 (尺寸分)
最下葉	一・九・五	九・〇
第二葉	二・〇・〇	一・一・〇
第三葉	二・四・〇	一・二・〇
第四葉	二・七・〇	一・二・八
第五葉	二・八・〇	一・三・五
第六葉	三・〇・〇	一・三・〇
第七葉	三・一・〇	一・二・〇
第八葉	三・二・〇	一・三・一
第九葉	三・四・〇	一・三・二
第一〇葉	三・三・五	一・五・五

又當時の假莖の高さ二尺六寸〇分にして其莖周九寸〇分なりき。

	心葉抽出し始めたる日 (大正年 月 日)	心葉充分開展したる日 (大正年 月 日)	心葉の抽出より開展に至る日數	葉の長 (尺寸分)	葉の幅 (尺寸分)	最初の葉の大さとの差 長 (尺寸分)	最初の葉の大さとの差 幅 (尺寸分)
一	九、一一、四	九、一二、四	三〇	三・七・〇	一・五・〇	—	—
二	一一、一八	一〇、一、七	五〇	三・二・〇	一・二・三	(−)五・〇	(−)二・七
三	一二、一三	二、一四	六三	三・一・〇	一・一・九	(−)六・〇	(−)三・一
四	一〇、一、七	三、四	五六	三・四・三	一・〇・七	(−)二・七	(−)四・三
五	三、二	四、一〇	三九	三・九・〇	一・一・〇	二・〇	(−)四・〇
六	三、一三	四、二五	四三	三・六・三	一・二・一	(−)七	(−)二・一
七	四、一五	五、六	二一	三・八・〇	一・五・一	一・〇	一
八	四、二八	五、一七	一九	三・八・〇	一・四・三	一・〇	(−)七

九	五、九	六、三	二五	三・七・七	一・四・五	七	(一)五
一〇	六、四	七、六	三二	三・七・〇	一・四・五	〇	(一)五
一一	六、二六	八、二三	五八	三・六・五	一・四・〇	(一)五	(一)一・〇
一二	八、一〇	九、八	二九	三・六・三	一・六・三	(一)七	一・三
一三	八、二九	九、二八	三〇	四・一・〇	一・五・八	四・〇	八
一四	九、一〇	一〇、一〇	三〇	三・九・〇	一・五・五	二・〇	五
一五	九、二七	一一、六	四〇	三・七・〇	一・四・〇	〇	(一)一・〇
一六	一一、一三	一一、一、一三	六一	三・七・三	一・四・五	三	(一)五
一七	一二、一八	二、二七	七一	三・七・〇	一・三・〇	〇	(一)二・〇
一八	一一、一、二五	四、二六	九一	三・七・二	一・三・〇	二	(一)二・〇
一九	四、四	五、一三	三九	三・七・〇	一・三・〇	〇	(一)二・〇
二〇	四、三〇	六、一五	四六	三・五・五	一・三・五	(一)一・五	(一)一・五
二一	五、一九	七、一三	五六	三・五・〇	一・三・〇	(一)二・〇	(一)二・〇
二二	六、一三	八、三	五三	三・五・〇	一・三・〇	(一)二・〇	(一)二・〇
二三	八、一	九、二	四一	三・五・〇	一・三・〇	(一)二・〇	(一)二・〇
二四	八、三〇	一〇、一	三二	三・七・〇	一・二・〇	〇	(一)三・〇
二五	九、一三	一二、一八	九六	二・二・〇	一・〇・〇	(一)一・五・〇	(一)五・〇
二六	一二、九	一二、三、二三	一〇四	一・七・〇	八・〇	(一)二・〇・〇	(一)七・〇
二七	一二、三、二七	—	—	—	—	—	—

備考　大正十二年五月十二日花穗を抽出せり。

(乙)　高脚種

大正九年十月七日既成葉全部を測定したるに、當時各葉の大さは左表の如し。

	葉長（尺・寸・分）	葉幅（尺・寸・分）
最下葉	二・四・〇	一・一・〇
第二葉	二・四・五	一・二・八
第三葉	二・九・〇	一・六・〇
第四葉	三・二・〇	一・五・五
第五葉	三・一・〇	一・六・〇
第六葉	三・五・〇	一・六・〇
第七葉	三・三・〇	一・五・〇
第八葉	三・三・〇	一・四・〇
第九葉	三・七・〇	一・六・六
第一〇葉	四・一・〇	一・七・〇
第一一葉	四・一・〇	一・七・二

又當時假莖の高さ三尺〇寸〇分にして其莖周一尺二寸〇分なりき。

	心葉抽出し始めたる日（大正年、月、日）	心葉充分開展したる日（大正年、月、日）	心葉の抽出より開展に至る日數	葉の長（尺寸分）	葉の幅（尺寸分）	最初の葉の大さとの差 長（尺寸分）	最初の葉の大さとの差 幅（尺寸分）
一	九、一〇、二九	九、一二、三	三五	四・一・五	一・七・〇	—	—
二	一一、二四	一〇、一、一七	五四	三・六・〇	一・五・一	(一)五・五	(一)一・九
三	一二、一八	三、一四	八六	三・七・〇	一・五・〇	(一)四・五	(一)二・〇
四	一〇、二、一四	四、四	四九	三・八・〇	一・四・二	(一)三・五	(一)二・八
五	三、一五	四、一八	三四	四・一・〇	一・三・〇	(一)五	(一)四・〇
六	四、二	五、五	三三	四・〇・〇	一・三・三	(一)一・五	(一)三・七
七	四、二六	五、一七	二一	四・一・〇	一・五・六	(一)五	(一)一・四

	心葉抽出し始めたる日	心葉充分開展したる日	心葉の抽出より開展に至る日數	葉の長	葉の幅	最初の葉の大さとの差 長	最初の葉の大さとの差 幅
八	五、七	五、二九	二二	四・二・七	一・八・六	一・三	一・六
九	五、一九	六、一四	二六	四・二・〇	一・八・五	五	一・五
一〇	六、二三	七、二二	二九	四・一・〇	一・六・三	(−)五	(−)八
一一	七、一	—	—	—	—	—	—
一二	七、二五	—	—	—	—	—	—

備考　大正十年八月六日暴風の爲倒伏せり。

（丙）北　蕉

大正九年十月七日既成葉全部を測定したるに、當時各葉の大さは左表の如し。

	葉長（尺寸分）	葉幅（尺寸分）
最下葉	三・一・〇	一・一・八
第二葉	三・一・二	九・〇
第三葉	三・三・〇	八・〇
第四葉	三・四・〇	一・一・〇
第五葉	三・五・五	一・三・五
第六葉	三・一・〇	一・三・〇
第七葉	三・〇・〇	一・四・〇
第八葉	三・三・五	一・三・二
第九葉	三・二・〇	一・二・〇
第一〇葉	三・三・〇	一・三・〇
第一一葉	三・五・〇	一・五・二
第一二葉	三・六・八	一・六・五

又當時假莖の高さは三尺〇寸〇分にして其莖周は一尺〇寸六分なりき。

	心葉抽出し始めたる日（大正年月日）	心葉充分開展したる日（大正年月日）	心葉の抽出より開展に至る日數	葉の長（尺寸分）	葉の幅（尺寸分）	最初の葉の大さとの差 長（尺寸分）	最初の葉の大さとの差 幅（尺寸分）
一	九、一一、三	九、一二、一八	四五	三・五・五	一・三・二	—	—
二	一二、三	一〇、一、二七	五五	三・六・〇	一・四・九	五	一・七
三	一〇、一、三	三、三	五九	三・六・四	一・三・五	九	三
四	二、八	三、二六	四六	三・八・二	一・二・五	二・七	(−)七
五	三、一〇	四、二一	四二	三・七・五	一・二・八	三・〇	(−)四
六	四、七	五、一〇	三三	三・八・〇	一・五・〇	二・五	一・八
七	四、二六	六、六	四一	三・八・三	一・四・七	二・八	一・五
八	五、二四	六、二八	三五	三・七・六	一・四・三	二・一	一・一
九	六、一六	七、一七	三一	三・七・九	一・五・二	二・四	二・〇
一〇	七、四	—	—	—	—	—	—

備考　大正十年八月六日暴風雨の爲倒伏せり。

(5) 小　結

第二回試驗の結果を表示して對照區と比較するに次の如し。

	最初葉抽出期（年月日）	最終葉抽出期（年月日）	葉數（枚）	終局	自大正九年十一月至十年六月葉數（枚）	同上對照區との差（枚）	自大正九年十一月至十年六月一葉の抽出始より開展に至る平均日數（日）	同上對照區との差（日）
對照區 仙人種	九、一一、四	一〇、七、一〇	一四	暴風折	一三	—	三三・〇〇	—
對照區 高脚種	一一、一九	八、五	一四	暴風折	一三	—	三〇・九二	—
對照區 北蕉	一一、一〇	一一、四、一	二七	花穗抽出	一四	—	二九・六四	—

一心葉區(1)	仙人種	二、二	二、一〇、二五	四九	枯死	一八	(+)六	二四・八九	(−)八・二一
	高脚種	二、三	一一、五	四七	枯死	一七	(+)五	二三・八二	(−)七・一〇
	北蕉	二、四	四、二四	三五	枯死	一四	〇	二八・六四	(−)一・〇〇
一心葉區(2)	仙人種	二、一	九、二五	四四	暴風折	一六	(+)四	二四・一九	(−)八・八一
	高脚種	二、四	三、一、一九	四四	枯死	一七	(+)五	三三・一八	(−)七・七四
	北蕉	二、四	二、八、一	二七	枯死	一五	(+)一	二八・〇〇	(−)一・六四
斷根區	仙人種	一〇、二九	一〇、七、二五	一一	暴風折	一二	(−)一	四〇・四五	(+)七・四五
	高脚種	二、四	三、二、二七	二七	花穗抽出	九	(−)三	三七・一三	(+)六・三〇
	北蕉	二、三	一〇、七、四	一〇	暴風折	九	(−)五	四三・〇〇	(+)一三・三六

此表によれば一心葉區卽ち剪葉區は根株の貯藏養分を悉く消費して枯死するに至れり。此第二試驗に於ては此區の植物は約一ヶ年間乃至二ヶ年の壽命を保持し第一試驗の場合の如く早く枯死せざりしは開展せる葉の開展より剪去に至る日數を約一週間乃至十日を延期せしに由るものなるべし。而して此區に於ては一定日數內に抽出せらるゝ葉數は對照區より著しく多く且一葉の形成に要する日數甚しく短縮せられたり。猶バナヽは普通狀態にありては一般に三五－四〇枚の葉を生ずれば花穗抽出期に入るものなるに剪葉區に於ては實に五〇－六〇枚を抽出せり。

之を第二試驗より數字を求むるに次の如し。

		終局	試驗中剪去したる葉數	試驗開始當時剪去したる葉數	計
對照區	仙人種	暴風折	一四	一〇	(二四)
	高脚種	暴風折	一四	九	(二三)
	北蕉	花穗抽出	二七	八	三五
一心葉區(1)	仙人種	枯死	四七	一二	五九
	高脚種	枯死	四七	一三	六〇
	北蕉	枯死	三五	一七	五三
一心葉區(2)	仙人種	枯死	四四	一三	五七
	高脚種	暴風折	四四	一一	五五
	北蕉	枯死	三七	一三	五〇
斷根區	仙人種	花穗抽出	二七	一〇	三七
	高脚種	暴風折	一一	一二	(二三)
	北蕉	暴風折	一〇	一三	(二三)

又斷根區は一定日數內に抽出せらるゝ葉數は著しく減少し且一葉の形成に要する日數は甚しく增加せり。而して斷根したるものは土壤より養分の攝收極めて少く枯死するに至るが如く考へらるゝも却つて然らずして對照區と等しく普通數の葉を抽出したる後花穗を抽出す。

四　總括及摘要

以上二試驗の成績を總括するに次の如し。

(1) 剪葉及斷根を行ふも未だ眞正なる萎縮病の徵候を呈したるものなし。

(2) 常に一心葉を殘して剪葉するときは假令根によりて土壤より營養物を吸收するとはいへ、葉によりて植物營養の基礎たるべき含水炭素の形成をなすこと甚だ少く、之に反し大形なる葉を形成せざるべからざるにより、營養を作る分量より寧ろ消費量が超過するを以て根株內に多量に貯藏せらるゝ澱粉を遂に悉く消費して枯死するに至る。
其早きは剪葉六枚にして致死するものあり。

(3) 斷根するときは土壤中より水及營養物質を攝收すること少きも、葉によりて含水炭素を形成するを以て、貯藏養分卽ち澱粉の量は殆ど減少することなく生存を繼續し、對照區と同數の葉を抽出したる後花穗を抽出す。

(4) 剪葉區にありては一定日數內に抽出さるゝ葉數は著しく增加し、且一葉完成に要する日數は著しく短縮せらる。而して後出の葉は漸次小形となり遂には假莖より全葉を外出せしめ能はざるに至り遂に枯死す。

(5) 剪葉區に於て葉が開展直ちに剪去し未開展の心葉のみを殘す如く取扱ふ時は枯死を早め、葉が開展後約一週間乃至十日後に剪去するときは永く生活を保持し、一ヶ年半乃至二ヶ年後に枯死す。又心葉の外に猶一葉を殘す如く取扱ふときは更に壽命を延引するものゝ如し。

(6) 斷根區に於ける後出の葉は著しく其大さを增減することなし。而して一定日數內に抽出せらるゝ葉數は著しく減少し、又一葉の完成に要する日數は著しく延長せらる。

(7) 普通狀態にありては花穗抽出に至る迄の葉數は約三五―四〇枚なるも剪葉する時は甚しく其葉數を增加し六〇枚に達するものあり。

(8) 普通狀態卽ち對照區に於ける一ヶ年間各月抽出する平均葉數を第一及第二試驗成績より得て之を表示すれば次の如し。

	仙人種	高脚種	北蕉	平均
一月	一・〇	一・〇	一・五	一・二
二月	一・〇	一・〇	二・〇	一・三
三月	一・〇	一・〇	一・五	一・二
四月	二・〇	三・〇	二・五	二・五
五月	三・〇	一・〇	二・〇	二・〇
六月	一・五	二・〇	二・〇	一・八
七月	二・五	一・五	二・〇	二・〇
八月	二・〇	二・〇	二・〇	二・〇
九月	二・〇	二・〇	一・五	一・八
十月	三・〇	一・〇	一・五	一・八
十一月	一・〇	二・〇	一・三	一・四
十二月	二・〇	一・〇	一・三	一・四
計	二二・〇	一八・五	二一・一	二〇・四

即ち北部臺灣に於ては營養餘り充分ならざれば花穗抽出迄に一ヶ年半以上を要すべし。

(9) 普通狀態卽ち對照區に於ける一ヶ年間各月抽出せる一葉の抽出より開展に至る平均日數を第一及第二試驗成績より得て之を表示すれば次の如し。

	仙人種	高脚種	北蕉種	平均
一月	日 五八・〇	日 五一・〇	日 四七・三	日 五二・四
二月	四三・〇	四三・〇	三八・〇	四〇・七
三月	二八・〇	二八・〇	三三・七	二九・二
四月	三三・五	二四・七	三〇・六	三三・九
五月	二四・三	二一・〇	二四・八	三三・四
六月	二七・三	二〇・〇	二五・五	二四・三
七月	一八・六	一八・〇	二四・三	二〇・三
八月	一六・〇	一八・〇	三三・五	一八・八
九月	一六・〇	二三・〇	三〇・七	二三・三
十月	一九・七	一九・〇	三一・七	二三・五
十一月	二七・五	二九・三	三五・五	三〇・八
十二月	三一・〇	四一・〇	四五・八	三九・六

卽ち氣温下降すれば一葉完成に至る日數は延長して五十日以上要することあり。然れとも氣温上昇する時は日數短縮せらる。故に北部地方に於ける植付より收穫に至る日數は中南部地方に於けるより著しく長し。又降雨及土壤中の水分の多少によりて葉の完成日數に影響を來すものなり。

(10) 剪葉結果により各品種の强弱を見るに北蕉最も弱く、高脚種之れに亞ぎ、仙人種は最も强し。仙人種は是等の中、最も丈高く根も强くして營養攝收能力も亦大なるもの〻如し。

附　試驗期間中の氣象（月別）

月別	平均氣温	最高氣温	最低氣温	降水量	降水日數
大正七年 六月	二七・六	三二・七	二六・八	四三四・五	一八
七	二八・九	三三・〇	二七・五	一五五・五	一六
八	二七・一	三一・三	二六・三	二一四・〇	一四
九	二五・六	二九・七	二三・八	四一・四	五
一〇	二三・六	二七・六	二二・五	一〇一五・三	八
一一	二〇・三	二六・七	一八・三	九〇・〇	一四
一二	一六・八	二三・三	一八・四	一七・四	一五
八年 一	一四・九	一九・三	一三・一	三〇・一	一六
二	一四・五	一八・一	一一・四	一八四・六	一六
三	一八・五	二〇・四	一五・一	一四一・一	一四
四	二一・四	二五・五	一八・〇	二四五・六	二〇
五	二四・五	二七・一	二〇・九	二七〇・三	一八
六	二七・七	三一・四	二四・二	二四三・三	二三
七	二八・三	三一・六	二五・三	一七六・二	三

八	二七・九	三〇・七	二五・七	三八〇・五	一五
九	二三・七	二七・七	二二・一	九六・〇	八
一〇	二三・三	二四・六	一九・九	五三・五	一三
一一	一九・四	二一・三	一六・八	一〇九・〇	一二
一二	一五・九	一七・七	一四・三	一五・一	一八
九、一	一三・六	一六・二	一〇・六	三三・〇	七
二	一五・一	一六・五	一二・一	一七八・五	一三
三	一六・八	一八・六	一四・六	一一・六	一三
四	二〇・〇	二二・一	一六・五	一〇九・三	一三
五	二三・三	二四・九	二〇・七	三五〇・九	一六
六	二六・四	二八・六	二三・八	一九八・一	一四
七	二七・六	二九・三	二五・四	四五六・五	一六
八	二九・五	三〇・七	二五・五	一八七・五	一〇
九	二七・一	二九・三	二四・八	四五七・〇	一〇
一〇	二三・四	二五・九	二〇・八	六〇・八	一三
一一	二一・三	二三・〇	一九・四	七三・七	一四
一二	一八・五	二一・〇	一六・九	二〇・二	八
一〇、一	一五・八	一七・二	一四・三	六一・七	一三
二	一四・八	一六・五	一二・三	三七・〇	一〇
三	一七・一	一九・〇	一四・六	二八八・九	一六
四	二三・一	二四・八	一九・三	一三・四	四
五	二三・四	二五・四	二一・二	三九五・三	一六

六	二六・〇	二九・四	二三・三	三七二・九	一七
七	二七・二	三〇・一	二四・三	一六六・六	一二
八	三〇・三	三一・九	二四・三	四一・七	一〇
九	二五・四	二七・八	二一・三	二四一・三	一四
一〇	二一・九	二五・九	一九・六	三五・九	一四
一一	二〇・〇	二三・〇	一七・七	六七・九	一三
一二	一七・〇	一八・三	一五・三	三四・五	一六
一一、一	一五・八	一七・三	一四・一	六八・七	一二
二	一六・六	一八・二	一五・一	一三四・六	一八
三	一七・三	一九・一	一五・九	九三・一	一五
四	二三・八	二五・〇	一九・八	一八六・四	一七
五	二四・四	二七・一	二三・二	二一七・〇	一三
六	二五・九	二八・七	二三・九	二八八・四	一九
七	二八・五	三一・四	二五・七	三五・三	一三
八	二七・六	二八・八	二五・七	三八四・六	一八
九	二六・〇	二八・四	二三・八	四二七・〇	一二
一〇	二三・〇	二五・三	二一・四	一八一・三	一三
一一	一八・七	二三・一	一六・三	四四・五	一四
一二	一六・四	一八・三	一四・四	八八・七	一五

昭和二年九月十二日印刷
昭和二年九月十五日發行

臺灣總督府中央研究所

臺北市大和町三丁目二番地
印刷人　船橋寛一

臺北市大和町三丁目二番地
印刷所　臺北印刷株式會社